

阪大生のための

海外留学ガイドブック

STUDY ABROAD GUIDEBOOK
for Osaka University Students

2024-2025



2024年4月発行

国際教育交流センター 国際部国際学生交流課

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

06-6879-7102

www.osaka-u.ac.jp



大阪大学 海外留学 @outbound.ou
<https://www.facebook.com/outbound.ou/>



C O N T E N T S

目次

はじめに

大阪大学では、「地域に生き世界に伸びる」を実践していくためにグローバル化を推進し、社会への貢献を目指しています。ひとくちにグローバル化、といっても、その取り組みには様々なものがあります。留学をはじめ、様々な形で海外に行く機会を提供することで、多様なグローバル人材を育成することは、その目標の大きな柱のひとつです。

今このガイドブックを読んでもらっている皆さんは、海外に行き海外で学ぶことに興味・関心を持たれていることと思います。その気持ちを大事にし、ぜひ大阪大学のグローバル化の一端を担っていただき、社会に貢献できる人材になっていただければと思っています。

留学は自分を大きく成長させる貴重な機会です。本学では派遣プログラムが多数ありますので、「視野を広げたい」「語学力を向上させたい」「コミュニケーション力をつけたい」「専門的に学びたい」といった目的や目標を持ってそれに適したプログラムを選び、より一層充実した留学を実現してほしいと期待しています。

ただ、所属している学部・研究科に留学経験者が少なかったり、留学に興味はあるものの情報が得られなかったりすると、躊躇してしまう方もいるようです。大阪大学では、教員や学生による留学相談や説明会、奨学金や留学中の危機管理サービスの情報提供を適宜行い、皆さんの不安を取り除くお手伝いをしています。留学への思いを憧れにとどめることなく、自分の経験にするために、本学が提供する機会を存分に活用してください。

2020年は新型コロナウイルス拡大の影響により、海外留学を含め海外との往来が制限される事態となりました。しかしながら本学では2021年度には独自の基準を定めて学生の皆さんの海外派遣を再開し、2022年度には各種留学プログラム等も再開しました。その後、現在にかけて、各種プログラムへの参加学生数は更に回復し、コロナ禍以前に近づくレベルに応募者数が回復してきた派遣プログラムも多くあります。

2024年には、留学へ興味を持ち、挑戦する学生が増え、各種プログラムへの参加学生数が更に増加していくことを願っています。しかしながら、受け入れ側の方針の変更や、今後の世界情勢により、皆さんの安全と健康を最優先に考えて、海外留学プログラムが中止となる場合もあるかもしれません。海外での直接体験に勝る留学はないと思いますが、2024年も引き続きオンラインのプログラムも一部提供する予定です。

今後の状況を踏まえながら、参加可能なプログラムや機会を積極的に活用してください。

留学を通して皆さんが成長し、人生の選択肢と活躍する機会が増えることを心より願っています。

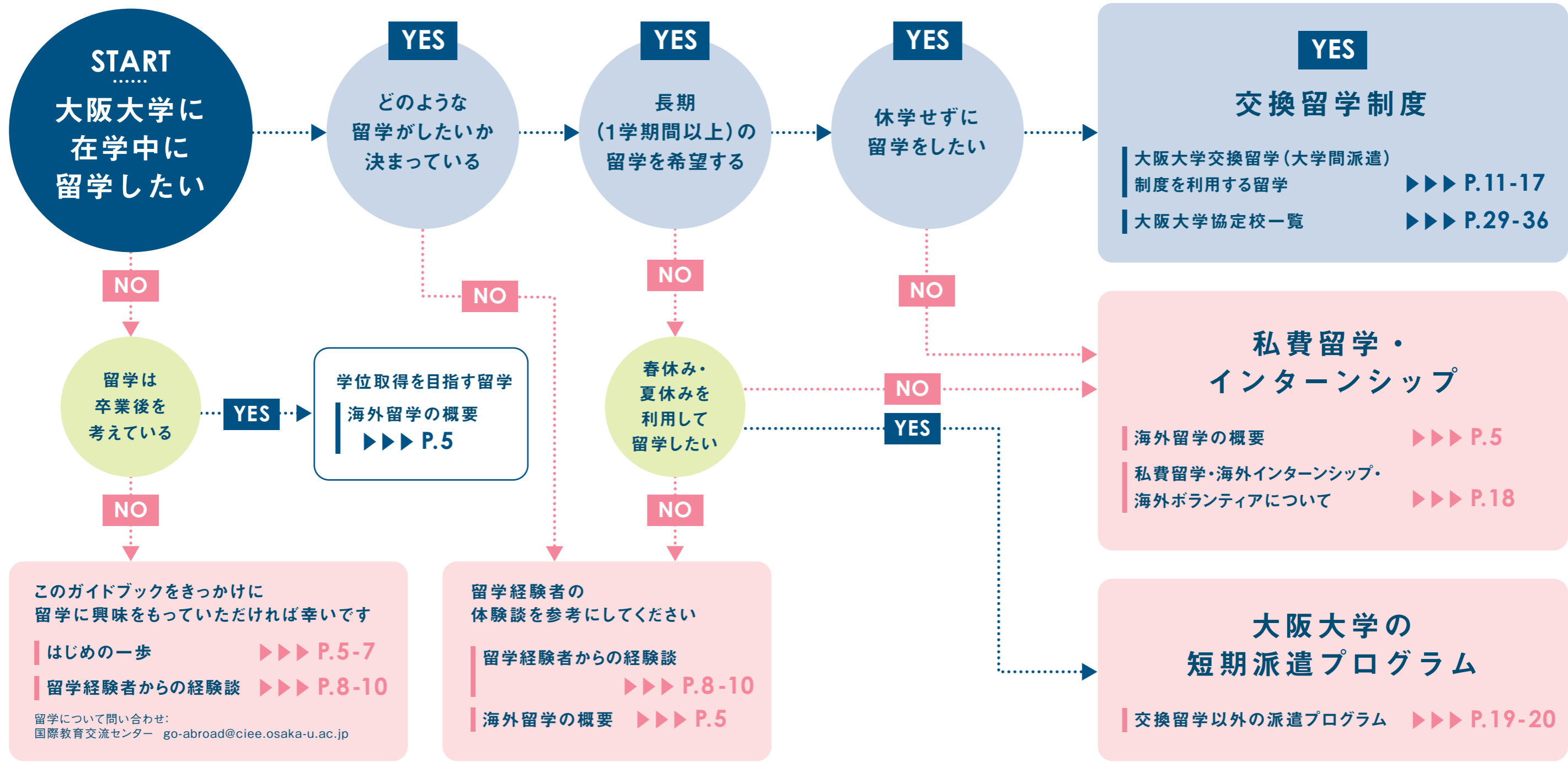
大阪大学 国際教育交流センター センター長 有川 友子

はじめに	01	(2) 渡航の準備	14
目次	02	(3) 本学での手続き	15
留学チェックチャート	03	(4) 健康面について	15
I はじめの一歩	05	4. 留学生活	15
1. オリエンテーションの案内	05	(1) 留学生活スタート	15
2. 海外留学の概要	05	(2) 大阪大学への連絡	16
(1) 留学の方法	05	(3) 勉学・研究・日常生活	16
(2) 留学の手続き	05	(4) 健康管理	16
(3) 留学先での科目履修と帰国後の単位認定	05	(5) 留学継続が困難になったとき	17
(4) 留学と将来の進路	05	(6) 安全の確保と危機管理	17
3. 留学の準備	06	(7) 交換留学を終了してから帰国までの流れ	17
(1) 大阪大学でできること - 「留学したいけれど、どうしたらいいかわからない」と思っている人へ	06	5. 帰国後	17
(2) 留学相談と体験談	06	IV 交換留学以外の留学制度・語学研修・インターンシップなど	18
(3) 留学実現に向けた準備	07	1. 語学留学(私費留学)	18
4. 語学能力試験等	07	2. 海外インターンシップ・海外ボランティアについて	18
(1) TOEFL®テスト (Test of English as a Foreign Language)	07	3. 留学関連情報リンク	18
(2) IELTS (International English Language Testing System)	07	4. 交換留学以外の派遣プログラム	19
(3) 英語以外の言語の能力試験	07	V 危機管理対応マニュアル	21
II 留学経験者からの体験談	08	海外留学時等の危機管理対応	21
III 大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学	11	海外留学時等の緊急連絡体制	22
1. 大阪大学交換留学制度とは	11	VI 海外留学 Q&A	23
(1) 制度のポイント	11	(1) 留学時期・期間について	23
(2) 大学間交換留学募集スケジュール	11	(2) 留学に必要な語学力について	23
2. 交換留学決定までの流れ	12	(3) 現地での生活について	24
[交換留学に向けた準備]		(4) 留学の費用について	24
(1) 学内選考への応募	12	(5) 留学先について	24
(2) 選考方法及び内定通知	12	(6) 交換留学制度について	25
(3) 交換留学派遣候補者内定通知後の協定校への申請	12	(7) 大学間交換留学の学内選考、応募について	26
(4) 交換留学生としての派遣の決定	13	VII 海外留学に関する資料	27
(5) 留学経験者等の紹介	13	1. 奨学金制度案内	27
(参考) 大学間交換留学 学内応募書類 不備例一覧	13	2. 大阪大学・学生交流協定校(大学間)一覧	29
3. 交換留学決定後の流れ	14	3. 大学間学生交流協定校情報	31
(1) 協定校への留学準備	14	4. 過去の交換留学派遣人数実績表(協定校別)・大学間	37
		過去の交換留学派遣人数実績表(協定校別)・部局間	40

Study Abroad Check Chart

留学について考えている皆さんの疑問を解消します！

質問に答えて進み、関連ページを参照して、あなたにぴったりの留学スタイルを探してください！



どの留学にも共通すること

語学能力試験について
知りたい方は

P.7

大阪大学の危機管理対応
について知りたい方は

P.21-22

留学に関するQ&Aは？

P.23-26

奨学金について
知りたい方は

P.27-28

1. オリエンテーションの案内

本学は、海外留学を考えている皆さんを対象に、「海外留学オリエンテーション」と「大学間交換留学オリエンテーション」を実施しています。「海外留学オリエンテーション」は、毎年4月頃に新入生へ向けた留学全般の内容を中心として、「大学間交換留学オリエンテーション」は6～7月頃に交換留学(大学間派遣)制度の内容を中心として、実施します。

(※状況により、イベントは中止・延期、もしくはオンラインでの開催になることがあります)

[2023年度に実施したオリエンテーション]

※2023年度はオンラインにて実施となりました

海外留学オリエンテーション	大学間交換留学オリエンテーション
2023年4月20日(木) 18:00～19:00(オンラインにて開催)	2023年7月11日(火) 12:10～12:50(オンラインにて開催)

2. 海外留学の概要

(1) 留学の方法

留学には、大まかに以下の4つの方法があります。

1. 夏季/春季休業期間中に参加する語学研修等
2. 本学の修業年限内に、在学した状態で交流協定校へ交換留学する方法(以下、交換留学)
3. 休学して留学する方法
4. 大学卒業後、海外の大学の正規課程に入学して学位取得を目指す方法

方法によって、受け入れ先での身分、修得単位の取扱いに違いが生じます。皆さんの就職や進学等の将来設計、自分に適した留学時期などについてよく考え、目的に合った方法での留学を目指してください。

(2) 留学の手続き

本学と海外の大学との交流協定に基づかない自主的な留学(以下、私費留学)や、海外の大学の正規課程に入学し学位取得を目指す場合には、休学(あるいは退学、卒業/修了)することになります。休学等の手続きの詳細は、所属学部・研究科の**教務担当係**に問い合わせてください。

交換留学の手続きは、『Ⅲ.大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学』で詳しく説明します。

(3) 留学先での科目履修と帰国後の単位認定

交換留学では、卒業に必要な単位数を修得するために、留学先で履修した科目の単位を本学の単位に認定できる場合があります。ただし、私費留学や、海外の大学の正規課程に入学し学位取得を目指す留学では、原則として、単位認定ができません。

以下の表を参考にしてください。また、本学での単位認定については、所属学部・研究科等の教務担当係に相談してください。

	海外の大学での学位取得	本学の授業料	留学先大学の授業料	修業(在学)年限算入	単位認定	メリット
在学しての留学(修業期間中) 大阪大学交換留学制度	不可	払う	払わない	可	可(所属学部・研究科の承認必要)	大学(交換留学担当部署)のバックアップ
休学しての留学	可	払わない	払う	不可	不可(ただし、所属学部・研究科によって承認する場合もある)	協定校以外でも自由に留学先が選べる
卒業後の留学(大学の関与外)	—	—	払う	—	—	自由にさらなるキャリアアップが望める

(4) 留学と将来の進路

留学は、皆さんの大学生活と卒業後の進学・就職、ひいては将来の人生設計とも密接に関係してきます。特に、休学の有無や留学期間によって、卒業時期が変更する可能性があるため、将来の進路に影響することがあります。充実した留学生活を送り十分な成果をあげるためにも、「なぜ留学するのか?」という目的意識をはっきりさせて、将来を見据えた留学計画を立てることが大切です。

これまで留学した本学学生の例:

学部時代に留学して卒業後に就職 / 大学院在学中に研究留学 / 帰国後、日本で大学院に進学 / 卒業後、海外の大学院に進学

3. 留学の準備

(1) 大阪大学でできること ～「留学したいけれど、どうしたらいいかわからない」と思っている人へ～

本学の中で、以下のような方法で、留学に近い体験をしたり、留学生と交流したりすることができます。

●『国際交流科目』の受講

英語で行われる「国際交流科目」は、大阪大学で学ぶ外国人留学生と一緒に、授業を受けることができます。「国際交流科目」は毎学期開講されているので、詳細はKOANで確認してください。本学学生は誰でも履修できますが、学部・研究科等によっては卒業要件単位とならない場合がありますので、受講の際は各学部・研究科の教務担当係に確認してください。

●外国人留学生チューターへの応募

チューター制度とは、渡日後間もない外国人留学生に対し、教育・研究について個別の課外指導、日本語指導等や、日常生活アドバイスを行うもので、留学生と交流できる絶好の機会となります。全学教育推進機構や各学部・研究科等で募集しています。

●B.S.P(Brothers and Sisters Program)

留学生支援のためのボランティアグループで、メンバーは大阪大学の学生です。国際教育交流センターと協力し、春と秋のキャンパスツアーや歓迎パーティなど様々な形で留学生支援・交流に貢献しています。

●多言語カフェ

全学教育推進機構(豊中キャンパス)で、昼休みに開催されています。英語をはじめ、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、朝鮮語(韓国語)等の言語で留学生と楽しくおしゃべりできます。(https://www.celas.osaka-u.ac.jp/students/international/cafe/)

●交換留学派遣・受け入れ学生交流会

各学期に一度、交換留学に興味のある学生、留学予定の学生、留学を終えた学生、協定校から派遣され本学で学んでいる学生を対象に交流会を開催しています。本交流会では、同じように留学を志す学生と知り合い情報を共有したり、留学したいと思っている留学先の大学から派遣されている留学生から現地の情報を得たりすることができます。また交換留学を実現するために学内にどのようなリソースがあるのか知る機会にもなります。



●各キャンパスの国際教育交流センター(IRIS、豊中分室、箕面分室)

●各学部・研究科等の留学生相談室

このように、本学でも多くの機会を用意していますので、積極的に調べ、活用して留学実現に役立ててください。

(2) 留学相談と体験談

海外留学に興味があるけれど、何から始めたらいいかわからないという方も、留学に少し興味がある方も、ぜひこの機会に留学相談サービスを活用してみてください。

1 国際教育交流センター 教員による海外留学に関する個別相談 (教員3名で対応)		期間:学期中(実施曜日は学期により変更あり) 時間:12:00～13:00(1人20分) 場所:オンラインと対面(豊中キャンパス) 予約方法:教員による留学相談のポスターを参照 ※詳細はKOANの掲示板を確認してください。
2 海外留学経験学生 による留学相談 (有志の相談学生2名で対応)		期間:学期中(実施曜日は学期により変更あり) 時間:12:00～13:00 場所:2024年度は対面で実施予定(国際教育交流センター豊中分室・箕面分室) 予約方法:予約は不要 ※詳細はKOANの掲示板を確認してください。

(3) 留学実現に向けた準備

留学実現に向けた具体的な準備は、以下を参考にしてください。また、交換留学制度の詳細は、III章を参照してください。

① 行きたい大学、専攻分野、履修科目を選ぶ

どこに、何を勉強しに行くのか決めましょう。目的を持った留学の方が留学計画を決めやすく、充実した留学となります。留学先を選ぶときは、公式ウェブサイトを中心によく調べて決めてください。口コミサイトやブログ、過去の情報は古く不確かなものも多いので参考にしないようにしましょう。

② 留学に必要な語学能力や学力を確認する

海外の大学の多くは、留学生に対し、その大学での修学・研究に支障の無いと判断される語学能力や学力を要求しています。そのため、留学するにはその要件をクリアしなくてはなりません。特に英語圏のほぼ全ての大学では、要件となる TOEFL、IELTS 等や成績の最低スコアが定められています。条件を満たす語学能力や学力の取得には時間がかかるため、事前に準備を行ってください。成績基準となる GPA(Grade Point Average) は 3.0 以上が望ましいです。

語学能力試験のスコアが必要な場合は、必要な時期までにスコアシートのコピーが提出できるよう、計画的に学習・受験してください。英語以外の言語を留学に使用する方も、なるべく公式のテストを受けるようにしましょう。現在は要件になくても、要件が変更し、公式テストのスコア提出を求められる場合があります。

また、国際部国際学生交流課では IELTS/ TOEFL iBT® / GRE® のテキストの貸出しを行っていますので、希望者は問い合わせてください。

③ 留学の時期と期間を決める

本学に在学している期間の、いつの時点で、どのくらいの期間、留学したいのかを決めましょう。交換留学は、通常約 1 年前から申請準備を始めますので、留学時期から逆算して具体的な準備計画を立ててください。つまり、申請時期までに、

1) 具体的な希望大学が絞られていること、2) 留学に必要な語学能力の要件を満たすことが求められます。

計画を立てるにあたっては指導教員や家族とよく相談し、留学終了後の大学院入試や就職活動など将来の見通しについてもしっかり見極めておく必要があります。

留学の必要経費も留学期間によって変動します。おおまかに、日本での準備費用には、日本で加入しておく海外旅行保険、渡航費、一時宿泊費、旅券申請費、語学試験費等があり、渡航先での費用には、教科書・文具費、住居・食費、現地医療保険、雑費等が当てられます。早めに方策を立てましょう。

4. 語学能力試験等

(1) TOEFL® テスト(Test of English as a Foreign Language)

TOEFL® テストは、英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストで、大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。TOEFL テストには、TOEFL ITP® テスト(Institutional Test Program)と TOEFL iBT® テスト(Internet-based Test インターネット版 TOEFL® テスト)があります。TOEFL ITP® テストは、団体向けテストプログラムのため、留学への応募には使用できません。詳細は、下記ウェブサイトを参照して下さい。

▶ TOEFL® テスト日本事務局 <https://www.toefl-ibt.jp/>

(2) IELTS (International English Language Testing System)

IELTSは、海外留学や研修のために英語力を証明する必要のある人向けのテストとして、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド等の大学で、英語力審査の基準に採用されています。大学による違いはありますが、留学への応募には、概ね文系で6.5、理系で6.0以上のスコアが要求されます。大学によってはセクション毎のバンドスコアの最低基準を設定していることがあります。IELTSにはアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類がありますが、留学に使用できるのはアカデミック・モジュールのみです。また、2015年4月には、新たに「IELTS for UKVI(IELTS for UK Visas and Immigration)」が導入されました。IELTS for UKVIテストの内容は従来のもと同じですが、「CCTV(映像監視システム)の監視下での試験実施」という点で異なります。イギリスの大学へ留学を希望する場合は、従来のIELTSやTOEFL iBT® は受け付けず、IELTS for UKVIのみ有効である大学もありますので注意してください。

▶ 公益財団法人日本英語検定協会 <https://www.eiken.or.jp/ielts/>

▶ 一般財団法人日本スタディ・アプロード・ファンデーション(JSAF) <https://www.jsaf-ieltsjapan.com>

▶ プリティッシュ・カウンシル(IELTS for UKVI) <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts>

(3) 英語以外の言語の能力試験

(参考)URL一覧掲載



初めての留学

南 太裕 (経済学部 経済経営学科)

● 2023年8月～2023年9月
ハワイ大学マノア校
夏季語学研修プログラム(アメリカ合衆国)

私は3年生の夏休みに、大阪大学の語学研修プログラムで5週間ハワイ大学に留学しました。他大学の生徒と合同で行われる3週間の英語の授業に加えて、昆虫博物館の見学や、川での生態系の調査などの体験をもとにグループでプレゼンテーションを行いました。

ハワイ大学の先生はみなさん親切で楽しく勉強することができました。授業ではハワイの歴史や文化、言語を学び、私のクラスでは特に話すことに重きを置いていました。教室内では日本語を話してはいけないというルールがあり、ディスカッションでは自分の意見をなるべく発言するように求められていました。

授業後にスーパーマーケットに買い物に行ったり、毎週金曜日の夜にワイキキである花火をみんなで観たり、休日にダイヤモンドヘッドに登ったり、シュノーケリングツアーに参加したりして、ハワイの自然を満喫するこ



とができたことも大切な思い出です。

私がこの留学で1番学んだことは、「怖がらずに自分の気持ちを伝えてみる」ということです。流暢でなくても、ミスがあっても全く問題ないので、積極的に話してみてください。最初は相手の言っていることが分からず、言いたいことが伝わらずに落ち込むこともあると思いますが、必ず相手も理解しようとしてくれます。この経験が必ずいつか自分の助けになると思います。

初めて留学に行きたいという方や、長期の留学を考えているけれど、いきなり長期間海外に行くのは不安という方にも、この留学はおすすめできます！

興味のある専攻外の科目への

小さな試み

成 雨軒 (工学研究科 地球総合工学研究科)

● 2023年3月～2023年7月
大阪大学 バーチャル留学プログラム(中国 北京大学)

私は構造工学の博士課程に在籍しています。自分の専門分野において深化させる必要がある中で、私は最新の技術に興味を持ち、人工知能という未知の領域に魅力を感じていました。しかし、自分の専門分野の研究に没頭する中で、他の分野に精力を注ぐ余裕がありませんでした。そんな中、偶然にも北京大学のバーチャル留学プログラムが私の興味を引く授業「教育と人工知能」を提供していることを知り、参加することにしました。

北京大学のバーチャル留学プログラムに参加した結果、私は期待以上の好印象を抱きました。参加した授業は少人数制なので、オンラインとオフラインの20人の参加者を合わせても、授業中に密にコミュニケーションを取り、良いフィードバックを受けることができました。先生は自身のWeChatグループを作成し、授業時間外でも質問に



応じてくれる体制を整えてくださりました。

この授業では、授業内プレゼンテーション、中間レポート、期末テストに応じて成績がつけられます。このような確かな成績判定要素があることで、意欲が高まり、知識を身につけることができました。私のように異なる専門分野に挑戦したいと考える留学生にとっても、このプログラムは非常に魅力的な選択肢であると思います。

今回の充実した経験を通じて、私はバーチャル留学が新しい知識を身につける絶好の機会であることを確信しました。是非、異なる専門分野に興味を抱く皆さんも、この機会を逃されることがないように、挑戦してみてください。

計画的無計画

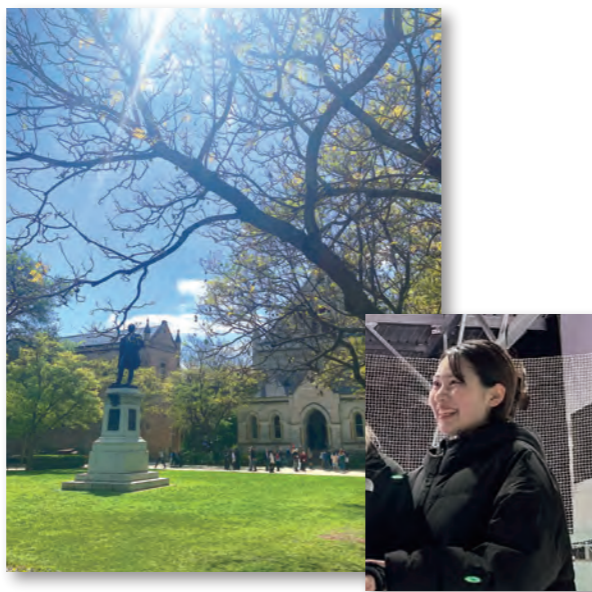
福田 羽七 (法学部 法学科)

- 2023年7月～2023年12月
大学間交換留学 オーストラリア アデレード大学

交換留学へのきっかけは、海外への憧れや、行けたらいいなという素朴な想いで、今思えば、随分と無計画なものでした。

しかし、予想に反して、生活や授業においてそこまで困ったことはありませんでした(高すぎる物価以外は)。市内から tram 1 本で、Glenelg という綺麗なビーチに着くので、市内にある大学の目の前の寮に住んでいた私にとっては、週末はバカンス気分を楽しめました。肝心の授業は、というと、興味があった犯罪学を中心に阪大でいうところの一般教のような1年生向けの授業と、専門科目のような3年生向けの授業を取りました。

オーストラリアの大学は3年制で、授業も講義自体というよりは講義の後に行われるゼミでのディスカッションがメインなので、ついていくのはなかなか大変でした。ただ、履修する科目数が少ない分、各授業に集中出来る



ことも特徴で、課題についてもチューターを含めたフォローアップのシステムが整っているので、良い勉強になりました。

また、O' week という新入生歓迎期間に知ったオーストラにも入り、コンサートを2回行いました。

Global Discovery

～ブルネイから世界を見る～

池田 航大 (経済学部 経済・経営学科)

- 2023年9月
(OUICP-S)大阪大学 ASEANキャンパス
キャリアアドバンス英語プログラム in ブルネイ

2年生の夏休みに2週間、東南アジアにあるブルネイという国のブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)で短期留学しました。3年生以降で長期の交換留学を計画してい



たのですが、海外経験の全くない私にとっていきなりの長期留学はハードルが高いと思い、本留学を決めました。

授業の構成は、午前中に英語でのプレゼンテーションスキルについて学び、午後からは現地のミュージアムや歴史的名所、観光スポットなどを訪れるといったものでした。食事については、外食をするとき以外は大学内の食堂で、3食ビュッフェ形式で用意されていました。

車社会のブルネイでは、どこへ行くにも車やバスで移動しなければなりません。そのため、空き時間にどこかへ行きたいときは、現地の友達に頼んで連れて行ってもらいました。また、基本的にはUBDの学生から構成されるグループ(僕たちはパディーと呼んでいました)が常にサポートとして付き添ってくれていたため、全く不便なことはありませんでした。

ブルネイは、外交的で明るい方がとても多く、パディーの学生もとても親切だったため、多くの時間を共に過ごし、互いの文化や歴史を共有しました。ブルネイは、環境保護への意識や経済発展への課題など様々な面で日本と似ているところがあり、それらについて意見を交わすことは大変有意義でした。国際経験を積むことは、21世紀で活躍するために、大変重要なことだと思います。皆さんもぜひ留学に挑戦してみてください。

日本でできるオンライン留学

飯田 清香 (外国語学部 外国語学科 スペイン語専攻)

- 2023年8月～2023年9月
エンデランカレッジ
夏季語学研修プログラム(オンライン)

英語力を伸ばすために夏休み中に何かしたいと考えていました。しかし、大学生になってから初めての夏休みで、友達と遊びたい、バイトや帰省もしたいと考えていたため、海外留学にあこがれてはいたものの、海外に行くという決断ができませんでした。そんな中、日本で留学ができるこのプログラムに興味を持ち、参加することを決めました。

このプログラムは、平日のみの授業開講で、マンツーマン形式でした。さらに、自分の意見を言う場面がかなり多く、考えを英語に直すというプロセスが必要になるため、休憩は挟みますが、4時間続けた英語の授業中、ずっと英語を聞いたり話したりすることに最初の一週間は特に苦しみました。

しかし、授業を繰り返していくうちに、英語を程良く



聞き流しながら授業を受けることができるようになったり、先生の話していることも楽に聞き取れるようになったりして、授業が楽しく感じるようになりました。明らかに英語への耐性がついたと実感しています。

フィリピンの方々が話す英語は聞きやすいので、このプログラムは英語が不安な人にもおすすめです。プログラムの終了後は、語彙が明らかに増えたこと、英語で話すことへの恐怖心がなくなったことを一番に感じました。また、英語の発音矯正もしていただいたので、英語を話すことに自信ができました。この留学のおかげであらゆる面での英語の基礎ができ、レベルアップに確実に繋がっているように思います。

チャレンジ連続の留學生活

守實 友梨 (工学研究科 環境エネルギー工学専攻)

- 2022年5月～2023年3月
研究留学及び修士課程学位留学
イギリス バーミンガム大学(トビタテ!留学JAPAN)

大学入学時から漠然と留学に行ってみたくと考えており、コロナ禍を経て修士1年になったタイミングで研究留学及び学位留学のためイギリス・バーミンガムを訪れました。大阪大学では、中性子を使ったがん治療



について工学面での研究を行っており、留学先では治療のための機械としても用いられる、新しい加速器の立ち上げ及び関連研究に携わりました。また、9月からの約1年間は大学の修士課程にも所属し、化学工学の観点からヘルスケアについて学びました。

準備はしていたものの、慣れないイギリス英語や価値観に最初はひどく戸惑いました。議論で自分の意見を上手く伝えられなかったり、ささいな談笑ができなかったり、日本に帰りたいとも思いました。それでも、ハウスマイトや先生方に助けられ、とりあえず話すことを心掛けるようになると、自然と気の合う友人もできるようになりました。特に、同じ留學生の友人たちとは、お互いの国の料理を振舞って故郷に思いを馳せたり、イギリス文化や英語で悩んだことについて相談しあったりし、励まし励まされました。

悔しい思いも含めてたくさんの経験を得られ、毎日が新鮮で、貴重な1年半でした。はじめの一步はとても大変だと思いますが、とにかく行って、やりたいことは全部やってみる、というのが大事だと切に感じました。現在は大学院に復学し、関連分野の研究を再開しています。留学での体験や知見を存分に発揮して、今後も自身の研究テーマに真摯に向き合っていきたいです。

1. 大阪大学交換留学制度とは

(1) 制度のポイント

交換留学とは、本学が海外の大学と締結している授業料相互不徴収の学生交流協定に基づく、1学期以上、1年以内の留学のことです。(大学と大学で締結しているものを『大学間協定』、学部や研究科単位で締結しているものを『部局間協定』と言います。)

ポイント

1 授業料相互不徴収

在籍大学に授業料を納めることで、留学先大学の授業料が免除されます。

2 留学期間が大学の修業年限に通算される

交換留学の場合、留年せずに標準修業年限内での卒業も可能です。

3 単位互換

留学先で修得した単位のうち、所属学部・研究科等で認められた単位は、本学の卒業要件単位に算入できます。

4 交換留学対象大学が多い

交換留学対象大学の一覧は、本ガイドブックの『大阪大学・学生交流協定校(大学間)一覧(p.29-30)』で見ることができます。また、各大学の概要は『Ⅶ. 海外留学に関する資料(3. 大学間学生交流協定校情報)(p.31-36)』から調べてください。詳細は、”Exchange program, 留学を希望する大学名”で検索し、公式のウェブサイトから確認してください。

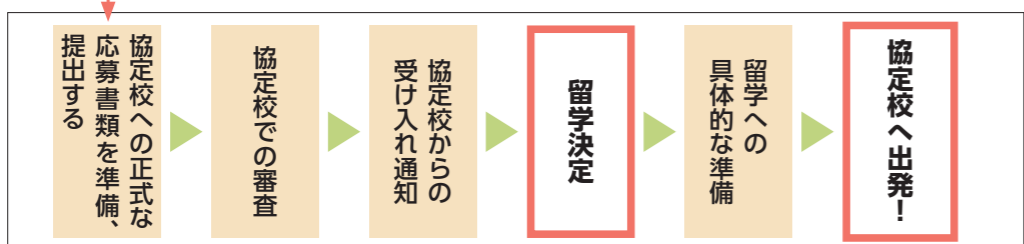
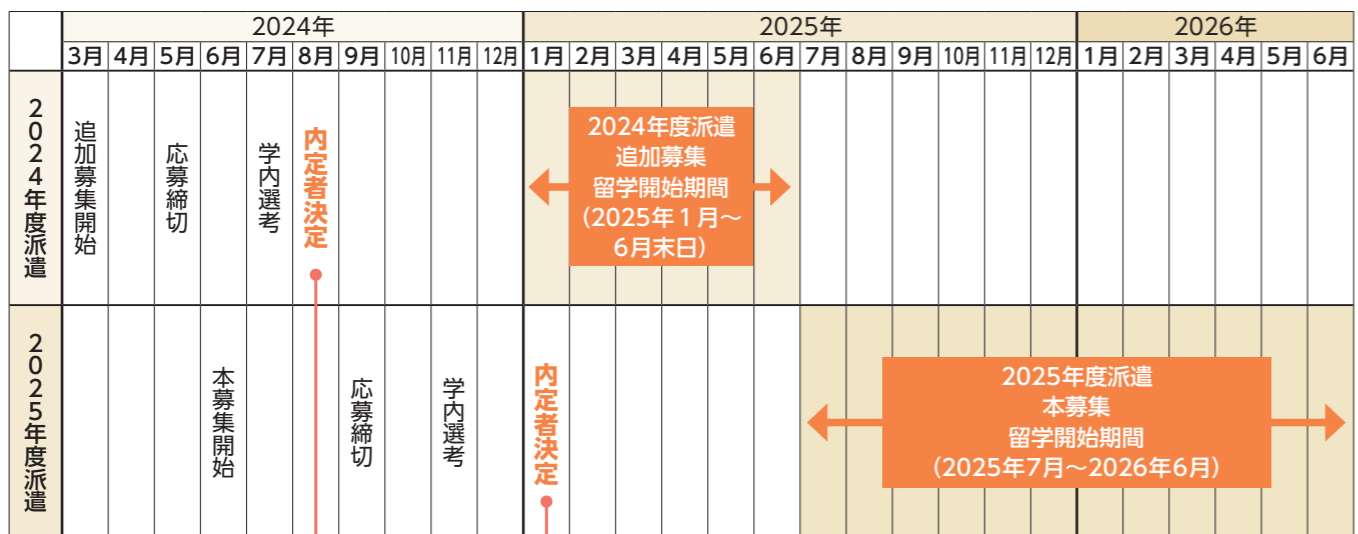
(Medical School, Law School, Business School等、専門教育を目的とする学部や大学院では交換留学対象外となるところが多いです。)

5 部局間交換留学は所属学部・研究科等に確認

学部・研究科が独自に締結している協定(部局間協定)による交換留学を希望する場合は、スケジュールや募集方法が大学間交換留学とは異なります。所属学部・研究科等の教務担当係へお問い合わせください。

(2) 大学間交換留学募集スケジュール

交換留学のための手続きのスケジュールを参考までに示します(次年度以降のスケジュールは変更する可能性があります)。



2. 交換留学決定までの流れ

交換留学に向けた準備

①	本ガイドブックの「Ⅶ. 海外留学に関する資料(3. 大学間学生交流協定校情報(p.31-36))」で、 留学希望大学が要求する学力や語学能力の要件を確認 ※ 第一志望の協定校が定める交換留学生の成績基準 (GPA 等 3.0 以上推奨) ※ 第一志望の協定校が定める交換留学生の語学能力
②	留学希望大学のウェブサイト①の要件について、 最新の情報を確認 ※ 同じ大学でも専攻分野次第で要件が異なることや、 <u>要件が予告無く変更される場合があります。</u>
③	条件をみたま留学先と、留学する期間を決定 ※ 卒業時期や必要経費も勘案すること
④	単位互換に関して、指導教員や所属学部・研究科の教務担当係に早めに相談 ※ 留学計画や学内応募に必要な推薦状等も併せて相談すること

(1) 学内選考への応募：留学開始時期の概ね1年前

応募には協定校が定める交換留学生の資格(学年、学力、語学能力等)を有することが条件となります。更に、留学先での勉学・研究に英語を使用する場合は、協定校が定める語学能力基準に加え、本学の語学能力基準(TOEFL iBT 79またはIELTS<アカデミックモジュール>6.0)も満たす必要があります。

※応募の詳細は、必ず『大阪大学 大学間交換留学募集要項』で確認してください。

※この募集は各学部・研究科等を通じて行うため、締切りは所属している学部・研究科の教務担当係へ確認してください。

※留学開始時期や期間について制限を設けている学部もありますので、応募の際は事前に教務担当係に相談し、その指示に従ってください。

(2) 選考方法及び内定通知

大学間交換留学は、書類審査と面接審査によって学内選考されます。面接審査は、募集人数を上回る応募があった協定校への申請者に対し、必要に応じて行われます。選考結果は、各所属学部・研究科教務担当係を通じて皆さんにお伝えします。

(3) 交換留学派遣候補者内定通知後の協定校への申請：留学開始の概ね半年前

選考の結果、交換留学派遣候補者として内定を得られれば、別途協定校へ正式な申請書類を提出します。それをもとに留学予定の大学で審査が行われ、受入が認められた後、本学からの受入通知をもって、交換留学が正式に決定します。

【申請方法】

国際部国際学生交流課から送付される『申請に関する案内メール』に従って必要な手続きを完了してください。

【必要書類の提出先】

国際部国際学生交流課が指定した期日までに必要書類を所属学部・研究科教務担当係を通じて提出してください。

※質問がある場合は、まずは国際部国際学生交流課へ連絡してください。協定校に直接お問い合わせいただく場合は、大阪大学の交換留学希望の学生である旨を添えて、お問い合わせください。

※提出期限や申請方法は協定校によって異なります。

※協定校によっては、HIV検査や予防接種の記録等、健康状態に関する書類が求められます。

※大学院生で、協定校での研究指導(フィールドワーク、実験等)を希望する場合は、大阪大学の指導教員と話し合ったうえで、協定校における指導者からの了承を事前に得ることが望ましいです。

※留学するためには、パスポートの有効期間が派遣期間+6か月間をカバーしている必要があります。期日にゆとりをもってパスポートを取得してください。

※語学要件・成績要件がある協定校は、大学間交換留学の応募の時点で、原則その要件を満たしている必要があります。特に語学試験は受験から結果が出るまで時間がかかることが多いため、早めの受験を心掛けるようにしてください。

※協定校が求める語学要件で語学試験の指定がある場合は、その語学試験の公式の語学能力証明書の提出が必要です。必ず応募する協定校のウェブサイトにて、提出が必要な語学試験の指定がないか確認してください。(例：DELFDALF、GoetheDaF等)

(4) 交換留学生としての派遣の決定：概ね留学開始の2か月前まで

協定校での最終的な受入れ審査の結果、交換留学生としての受入れが認められると、受入れ許可書が協定校から送付され、本学からの留学決定通知をもって、正式に交換留学生としての派遣が決定します。

【受入れ許可書の通知方法】

- ①協定校から国際部国際学生交流課へ文書やメールの送付によってお知らせ
 - ②協定校から学生へ直接文書やメールの送付によってお知らせ
- ※②の場合は大阪大学でも受入れ許可を確認する必要があるため、報告をお願いしています。許可書が届いたら必ず国際部国際学生交流課へ連絡をしてください。

【大阪大学からの留学決定通知の通知方法】

各所属学部・研究科教務担当係を通じてお知らせ

(5) 留学経験者等の紹介

交換留学派遣候補者に対してのみ、留学予定の協定校へ留学した経験がある先輩学生の紹介を行っています。紹介を希望する方は国際部国際学生交流課に問い合わせください。

- ※交換留学が内定していない学生には、紹介を行っていません。
- ※複数の学生を紹介することはできません。
- ※紹介する学生が、現在留学中の場合もあります。

(参考) 大学間交換留学 学内応募書類 不備例一覧

【重要】語学能力要件や成績基準、履修条件などについては、必ず協定校の公式ウェブサイト等で最新の情報を確認してから学内応募してください。

	不備例	不備があった場合
語学・成績要件	自分の成績が、留学を希望する協定校が定める交換留学生の成績基準(GPA等)より低かったが、学内応募した。	協定校が定める成績基準を満たしていなければ、多くの場合学内審査の対象外となります。
	希望する留学先の語学要件には、IELTS 6.0 (各セクション5.5以上)とある。自分のIELTSの総合スコアは6.0だが、苦手なスピーキングは5.0だった。	協定校によっては、語学能力のスコアの合計点だけでなく、Speaking やWritingなどセクションごとの条件が課されています。条件を満たしていない場合は学内審査の対象外となります。
	希望する留学先が中国語の公式スコアHSK4級以上を条件としていたが、まだ試験を受けていないので学内応募では「教員による語学能力証明書」を代わりに提出した。	協定校が公式スコアの提出を求めている場合は、学内応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要です。
	希望する留学先の学習言語は主に韓国語だが、英語で行われる講義も受講予定である。学内応募では韓国語の語学能力証明書だけを提出した。	留学先の協定校で2か国語以上を使用する場合は、原則使用する言語の語学能力証明書を全て提出してください(この場合は韓国語と英語)。また、それぞれが協定校が定める基準を満たしている必要があります。
留学先での専攻と履修	希望する留学先は、交換留学生は学部2・3年生の学生を受け入れると記載があった。留学開始時に4年生になるが、応募時点では3年生なので応募した。	協定校が受入れ条件として学年を記載している場合、「留学開始時」を基準とします。条件を満たしていない場合は学内審査の対象外となります。
	希望する留学先のシラバスをチェックしたが、内容は読まずに興味のある授業名を選択して、学内応募書類の「履修計画」を作成した。	交換留学生を受け入れている学部・学科であっても、科目によっては交換留学生が履修できないものがあります。また、pre-requisites (履修条件) を課している科目もありません。履修できない科目のみを記載している場合は、学内審査の対象外となる可能性があります。
	希望する留学先では法学部で学びたいと考えている。阪大では文学部に所属しており、法学系の授業は受けたことがない。	留学先では、大阪大学での専攻と大きく異なる専攻への所属や科目の履修ができないことがあります。留学希望先の受入れ条件を満たしていない場合、学内審査の対象外となる場合があります。
	大学間交換留学では語学を主に勉強したいので、語学コースを選択して学内応募した。	大阪大学では、語学を勉強するための大学間交換留学は、原則認めていません。また、協定校によっては語学コースへの所属ができない場合があります。所属できない学部・学科等を学内応募書類に記載している場合、学内審査の対象外となります。
申請書作成	学内応募の申請書が出来上がった後に間違いを見つけたので、手書きで修正した。	取消し線、修正ペン、修正テープを使用した修正は原則不可です。
	どうしても行きたい留学先があったので、応募書類の第一希望から第三希望まで、キャンパス名だけ変えて全て同じ大学名を書いた。	第一希望から第三希望まで同じ協定校を記載した場合、キャンパスが異なっていたとしても第二希望、第三希望は学内審査の対象外となります。必ずしも第一希望の留学先に行けるとは限らないので、第二希望、第三希望は異なる協定校の記載を推奨します。
その他	希望する留学先では国際関係学を学びたいと考えているが、どの学部で学べるかわからないので、「学部・学科」のところは適当にGlobal Studiesと書いた。	希望する留学先として記載した学部・学科名がその大学に存在しないなど、応募書類の内容に大きな誤りがある場合、学内審査の対象外となる場合があります。
	大学2年生の時に大学間交換留学に行っても良かった。大学4年生の時に大学間交換留学したいと思い、学内応募した。	既に同じ学位レベルで大学間交換留学をした学生は、大学間交換留学への再応募は不可です。部局間交換留学については、所属学部・研究科の教務担当係へ確認してください。
	大学から支給されたメールアドレスがあるが、普段全く使っていないので、他のメールアドレスで学内応募した。	大学間交換留学応募時には、必ず大学から支給されたメールアドレス(@ecs.osaka-u.ac.jp)を使用してください。大切なメールが届かない場合があるため、携帯やフリーメールのアドレスは不可です。大学間交換留学の案内は、大学のメールアドレスを通して行います。

3. 交換留学決定後の流れ

(1) 協定校への留学準備

履修登録や保険加入の案内、寮への申込み(希望者のみ)は、必須の手続きになります。手続きや書類に不備があると受け付けてもらえない可能性もありますので、注意して取り組んでください。

- ※交換留学決定後の留学準備は、全て皆さんで行っていただきます。
- ※協定校から案内のメールが届いた時は、国際部国際学生交流課へも転送してください。
- ※わからないことがあれば、国際部国際学生交流課まで気軽に問い合わせてください。

(2) 渡航の準備

① ビザ

交換留学に必要なビザの種類や申請方法を確認し、期限に余裕を持って申請、取得してください。ビザ申請から取得まで、1~2か月程度要する国・地域もあります。申請方法や手続きについては、当該国・地域の在日大使館・総領事館等の公式ウェブサイトを確認してください。

▶参考：駐日外国公館リスト <https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/index.html>

- ※ビザの取得に必要な書類は各国・地域によって異なります。
- ※渡航前に予防接種が求められる場合、接種の完了まで数か月かかることがあります。

② 渡航時期・飛行機のチケット

飛行機のチケットを取る際は、安全上、夜間(20時以降)に到着する航空便の利用は控えてください。止むを得ず到着が遅くなる際は、到着後の深夜列車、深夜バス等での長距離移動は避け、空港内または近くの安全なホテルに宿泊し、翌日に移動しましょう。また、現地生活に慣れるための時間は必要ですので、少し余裕を持って出発し、派遣先での留学生向けオリエンテーション開始の数日前には到着することをおすすめします。

- ※新学期開始時期やオリエンテーションについては、協定校の情報を参考にしてください。
- ※入寮時期が指定されていることもあるため、確認しましょう。

③ 留学先の治安状況・保健情報等の収集

治安状況と保健情報等は、以下を参考にしてください。

- ▶外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp>
※たびレジに登録してください。
- ▶厚生労働省検疫所(海外渡航者のための感染症情報) <https://www.forth.go.jp/index.html>
- ▶World Health Organization (WHO) <https://www.who.int/>

④ 危機管理オリエンテーション：詳細は国際部国際学生交流課から案内

本学では危機管理オリエンテーションを例年8月頃に開催していますので、必ず参加してください。

⑤ 海外旅行傷害保険

交換留学生に対し、指定の保険への加入を必須とする協定校もありますが、補償範囲や金額等の内容が十分でない場合は、海外旅行傷害保険に加入してください。クレジットカード付帯の保険もありますが、補償内容が不十分なことが多いため、別途、留学期間全てをカバーする保険への加入が必須です。

- ※治療・救済費用が1億円以上の賠償責任付き海外旅行傷害保険に加入してから出発してください。
- ※海外旅行傷害保険は、日本を出発する前にしか加入することができません。
- ※既往症、歯科関係、妊娠関係は一般的に海外旅行傷害保険の対象外となります。

III 大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学

⑥留学生危機管理サービス(OSSMA):加入手続きは国際部国際学生交流課から案内

OSSMAは、留学中の困ったことや相談したいことが発生した際に24時間365日、日本語・英語にて適切なサポートを受けられるサービスです。交換留学する方は必ず加入しなければいけません。

[サービス内容]

海外での生活・事故・病気に関する電話相談 / 医療機関の紹介・予約 / 安否確認等

※けがや病気の治療費、事故の加害者となった場合の賠償費用等の保証はありませんので、別途海外旅行傷害保険には必ず加入してください。

⑦海外渡航届システム:詳細は国際部国際学生交流課から案内

海外渡航する前に、必ずオンラインシステムから渡航情報の登録を行ってください。海外渡航中の皆さんが無事に過ごしているかどうかを確認するためのシステムです。テロ事件、災害や、感染症の発生など海外で緊急事態が発生した場合に、本システムを通して渡航状況を確認し、安否確認を実施します。

(3)本学での手続き

[留学先での単位の取得について]

手続きは所属学部・研究科毎に異なります。留学先の単位を本学の単位に認定するためには、細かなルールがありますので、指導教員及び所属学部・研究科の教務担当係と事前によく相談してください。

[所属学部・研究科での手続きについて]

所属学部・研究科によっては、「留学願」といった書類の提出が求められることがあります。詳しくは教務担当係へ確認してください。

[留学後の提出物について]

大学間交換留学へ参加した方には必ず、以下の書類を提出してもらっています。国際部国際学生交流課から随時メールや文書で連絡しますので、漏れの無いように努めてください。

- 大阪大学交換留学(派遣)報告書
- 留学先大学の成績証明書の写し
- 海外留学体験談

(4)健康面について

既往症等海外での生活に不安のある方は、事前に国際部国際学生交流課まで連絡をお願いしています。留学先の適切なサポートのためにも必ず申し出てください。出発前にかかりつけの医師にも相談してください。また、歯の治療は、原則として海外旅行傷害保険の対象外であることが多く、国・地域による治療技術にもばらつきがありますので、出発前に治療を済ませておいてください。※健康面の事項は大学間交換留学の採否には一切関係ありません。

4. 留学生活

(1)留学生活スタート

◆日本国籍の人は最寄りの日本大使館・領事館に『在留届』を提出

外国に住所または居所を定めて3か月以上滞在する人は、旅券法第16条により、その地域を管轄する日本大使館または総領事館に速やかに在留届を提出することが義務付けられています。

- 参考 ▶ 在留届電子届出システム <https://www.ezairyu.mofa.go.jp>
▶ 在外日本公館リスト <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/>

◆協定校のInternational OfficeやStudent Centerを訪ねて指示を受ける。

一般的には、協定校から現地到着後まず協定校内のどこに行けば良いのか、事前に案内されます。困ったことがあれば、とにかく遠慮せずに積極的に利用してください。

◆留学生を対象としたオリエンテーションへ参加

協定校での手続き(履修登録、学籍登録、図書館やPC関連の登録、保健センターへの登録等)や、日常生活上の手続き(銀行口座開設等)について説明があると思います。

(2)大阪大学への連絡

◆1か月に一度、定期報告を行う。

日常生活や学習状況を記載し、国際部国際学生交流課へ定期報告をしてください。また、履修内容の変更を希望する場合は、必ず国際部国際学生交流課へ事前に相談しましょう。事後報告ではなく、事前相談してください。皆さんは大阪大学の代表者として交換留学をしていますので、本学でも状況を把握する必要があります。

◆留学先の住所、連絡先等が決まったら「海外渡航届システム」「OSSMA LOCATER」に入力

本学では、留学中に何か起こったときに、交換留学生と迅速に連絡を取って適切な対応をするための体制を取っています。入力を忘れないようにしてください。

◆留学中に留学先国・地域でテロ、政情不安、天災、新型インフルエンザ等の感染症等が発生した場合

緊急時の報告や安全の確保と危機管理については後述の(6)を参考にしてください。また、連絡先はp.22を参照してください。

(3)勉学・研究・日常生活

先輩たちの話を聞くと、多かれ少なかれ、誰しもが似たような悩みを経験しています。「語学力、特に語彙不足を痛感した」/「他の国・地域の学生の積極性に圧倒された」/「毎週のように出されるリーディング課題が追いつかない」/「授業中のディスカッションで思うように発言できない」/「レポートやプレゼンテーション課題が多い」/「授業についていだけでも大変、留学しなければよかった」

もしかしたら皆さんも同じように悩むかも知れませんが、思い描いていた留学生活とのギャップに焦る気持ちは抑えて、まずは自分のできることから始めてみましょう。

- 学習方法がわからなければ、先生やクラスメイト、友人に聞いてみる。
- ライティングセンターなど、留学生向けのサービスがあれば積極的に活用する。
- 協定校のカウンセリングサービスを利用する。
- 日本にいる家族や友人に連絡をとる。
- 国際部国際学生交流課へ相談する。

(4)健康管理

留学を開始してから最初の3か月間は、日本での生活とは異なり、食事や、生活のリズム、環境の変化から体調を崩してしまうことがよくあります。体調がすぐれないときは早めに診察を受け、大事に至らないようにしてください。

- 協定校に保健センターがあるときは、利用する。
- 24時間365日サポート体制の「OSSMAヘルプライン」へ相談する。

(5) 留学継続が困難になったとき

様々な事情で留学を続けるか迷った時は、一人で抱え込まずにまずは国際部国際学生交流課に連絡をしてください。国際教育交流センター(go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp)でも構いません。留学中に、予想もしなかったような状況に陥ることもあり得ますので、何かあったら一人で悩まず誰かに助けを求めてください。

皆さんのプライバシーは確実に守られますので、安心して相談してください。

(6) 安全の確保と危機管理

外国では、文化や生活習慣が異なるため、日本での安全意識を当然と思わず、常に安全面での緊張感を持つとともに、「自分の身は自分で守る」という意識をもって行動してください。万が一に備えて、緊急時連絡先(日本及び海外での連絡先)を控え、常時携帯するようにしてください。

大阪大学の連絡先や現地の日本国大使館や総領事館(在外公館)の情報はもちろんのこと、協定校における緊急時対応・連絡システムについて把握し、もしものときに冷静かつ迅速に対応できる備えが必要です。

交通事故や窃盗事件、新型インフルエンザ等の感染症の流行、政治・経済・社会的な危機発生等の非常事態への対応には、日頃からの情報収集とシミュレーションが有効です。危機的状況下においては、まず身の安全を確保すること、次に在外公館や留学先の協定校への連絡、日本の家族や大阪大学への連絡を行ってください(緊急時の連絡先は、p.22を参照)。留学先国・地域の治安状況を把握するために、現地情報だけでなく、在外公館や外務省海外安全サイトなどを常日頃からチェックする習慣をつけましょう。

また、留学中に旅行等で第三国を訪問する際は、現地の在外公館から安全情報を得るために、必ず外務省海外旅行登録[たびレジ]に登録してください(日本国籍保持者のみ)。有事の際、「たびレジ」の登録情報に基づき、外務省からの安否確認や救援活動が行われます。

基盤となるのは、「自分の身は自分で守る」という意識です。安全で楽しい留学生活を送るために、緊張感を保ち、緊急時の対応を想定して、非常時に備えることを忘れないでください。

(7) 交換留学を終了してから帰国までの流れ

交換留学は、申請時に認められた留学期間が終わったら原則帰国してください。帰国せずに何らかの活動を行う場合は、必ず事前に国際部国際学生交流課まで相談をお願いします。帰国の準備は、皆さんのペースに合わせて、留学期間が満了する前から計画的に始めてください。あわただしい時期ですが、きちんと整理をして、気持ちよく日本へ帰ってきてください。

[協定校での手続き]

留学先の成績証明書の郵送依頼 / 退寮手続き / 交換留学生としての留学終了時の手続き

[その他の手続き]

荷物を日本に輸送 / 家具を適切に処分 / 電気、ガス、水道、電話、郵便物、銀行口座の停止 / 帰国便の確定 / 日本国大使館・領事館(在外公館)への帰国届の提出 / 国際部国際学生交流課へ最終的な帰国日程の報告

5. 帰国後

留学先で学んだこと、経験したことはもちろん、留学に挑戦し実現させたその意欲と積極性、そして逆境を乗り越えた留学体験そのものが、皆さんの人生における貴重な財産となります。多様な価値観に触れることで、自分の世界・視野を広げ、自分自身を再認識し、自身の将来やキャリアを見つめ直す機会になるはずです。皆さんが留学を通じて学んだことをどのように活かしていくかは皆さん次第です。

多くの価値を秘めた「留学体験」をするために、留学に挑戦してみてください。

1. 語学留学(私費留学)

海外での語学留学の場合、交換留学や海外の大学・大学院に入学する場合と異なり、通常単位認定などを受けられません。しかし、以下のような理由で留学を希望する人は、英語圏での語学留学を考えてみてください。

- 就職に有利なので、短期間で英語力をつけたい。
- 海外経験を積んで、将来、留学やインターンを実現したい。
- 正規留学をする前に、大学の付属機関などで英語を勉強したい。

[語学留学先の地域や学校の選び方]

- 大学生協や留学斡旋機関を通じて、希望に合った語学学校や大学付属のエクステンション・スクールなどを紹介してもらおう
※どの斡旋機関でも、基本的に相談や資料説明は無料で行っています。複数の機関に相談して信頼のおける機関を選ぶようにしてください。
- 自分でインターネットを閲覧して語学学校を選択し、入学する

[語学留学のポイント]

① 基本的な目標は何か

自分の勉強したい分野や行きたい大学、環境等、どの点に重点をおくか明確にしておきましょう。英語のスキルアップだけでなく、ビジネスやボランティア活動に興味がある人には、語学研修以外に実地研修が組み合わされているようなコースを探してみることをお勧めします。

② どの国・地域・都市に行きたいのか

まず、国の選定が重要です。将来の目標や自分の興味に照らし合わせて自分が適応しやすい場所を選びます。英語学習の場合は、国によってアクセントなども異なります。また、安全性、ビザ取得の利便性、物価水準、生活環境なども考慮して行き先を決めましょう。

③ 予算・留学期間は適切か

国や地域ごとに生活費や授業料なども異なります。いくつかの学校を候補にして、行ける期間と予算を試算したうえで、最も適当な学校を選びましょう。

④ 自分の目標達成のために、有効に時間とお金を使えるかどうか

①から③を踏まえて、可能な限り自分に合った研修先を選ぶことが大切です。迷った時は周りの人に相談しましょう。

2. 海外インターンシップ・海外ボランティアについて

海外で働きながら学ぶことは、将来、国際的な企業や組織で働こうという皆さんには、貴重な体験になります。海外インターンシップを運営する、世界最大規模の国際学生NPO・アイセックや理系学生を中心に、海外インターンシップを仲介する国際機関・イアエステ等、様々な海外インターンシップ・海外ボランティアがあります。興味のある方は是非調べてみてください。

3. 留学関連情報リンク

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)「海外留学支援サイト」

海外留学の基礎情報から世界各国の留学情報まで、留学を目指す方のための様々な情報が掲載されています。

▶ <https://ryugaku.jasso.go.jp>

IV 交換留学以外の留学制度・語学研修・インターンシップなど

4. 交換留学以外の派遣プログラム

大阪大学では下記のような語学研修・海外研修プログラムが実施されています。他にも、各学部・研究科等で独自に実施されるものもありますので、興味のある方は所属学部・研究科等の掲示板や留学担当の窓口等で情報を得るようにしてください。プログラムによっては一部の助成を得られる場合があります。詳細はKOANに掲載される各プログラムの募集要項で確認してください。状況に応じて、各プログラムは中止や延期、もしくはオンラインでの実施に変更となることがあります。

2024年2月現在

プログラム名称 (科目となっているものはその名称)	研修先国・地域	研修先機関名	研修内容	実施予定期間	対象者 (学部・研究科)	定員	募集時期 (予定)	応募締切 (予定)	問い合わせ連絡先	
ハワイ大学マノア校 夏季語学研修プログラム (国際交流科目「アメリカ異文化体験演習」)	米国 ハワイ州	ハワイ大学マノア校	英語研修に加えて、ハワイの歴史や文化などの異文化を体験することができる、初心者向け海外英語研修 *単位修得可能	8月下旬～9月下旬 (3週間～5週間)	全学部・研究科	15名程度	4月上旬	5月上旬	国際部国際学生交流課海外留学係 *学務情報システム(KOAN)にて詳細を掲示します	
エンデランカレッジ 夏季語学研修プログラム 春季語学研修プログラム (国際交流科目「フィリピン異文化体験演習」)	オンライン (フィリピン マニラ)	エンデランカレッジ	英語運用能力向上を目的としたマンツーマン及びグループレッスンによる英語研修。 (オンライン) *単位修得可能	夏季：8月中旬～9月上旬 春季：2月下旬～3月上旬 (3週間)	全学部・研究科	15名程度	夏季4月上旬 春季11月上旬	夏季5月上旬 春季12月上旬		
グローニンゲン大学 短期滞在学修 (国際交流科目「オランダ異文化体験演習」)	オランダ グローニンゲン	グローニンゲン大学	国際的な視点を持つためのコミュニケーションに必要な英語、及びさまざまな文化と接してきたオランダの文化を学び、地球規模の課題についても触れることができる。 *単位修得可能	2月～3月 (10日間程度)	全学部・研究科	15名程度	11月上旬	12月上旬		
バーチャル留学プログラム (国際交流科目「グローバル人材育成講義」)	オンライン (東アジア、 環太平洋、 ヨーロッパ等)	北京大学、上海交通大学、 大連理工大学、東南大学、 国立成功大学、延世大学、 アイルランド大学、ハン ブルク大学等の協定校 APRU加盟校	本学の授業科目の受講と並行して、海外大学の講義をオンラインで受講できるプログラム。将来的に海外留学を考えている学生にとっては留学前に海外大学の講義を体験することで海外留学への意欲を高めることができる。 また、理工系や医歯薬系の学生などにとっては、日本にいながらオンラインを通じた留学体験により、国際性の涵養が可能となる。 ①本学の国際交流科目としての単位修得又は ②海外大学の単位を所属学部・研究科で単位互換が可能。	春夏学期 2月～7月頃 秋冬学期 9月～1月頃 (大学により異なる)	全学部・研究科	特に設けていない	春夏学期 12月頃 秋冬学期 7月頃 (大学により異なる)	春夏学期 1月頃 秋冬学期 8月頃 (大学により異なる)		
(OUICP) Osaka University International Certificate Program	タイ インドネシア ベトナム ブルネイ マレーシア	マヒドン大学、バンドン 工科大学、ベトナム科学 技術アカデミー、ブルネ イ・ダルサラーム大学、 マレーシア科学大学等	共通科目群、海外実習科目群及び選択科目群で構成されるプログラム。テーマ別に複数のプログラムを提供しており、1年間のプログラム期間中に修了要件を満たした者に修了証書を交付する。共通科目群には各プログラムの基礎科目とSDGs科目を設定する。海外実習科目群はラボワーク、フィールドスタディ又はインターンシップから選択し、任意の期間に2週間以上海外渡航を行い、大阪大学 ASEAN キャンパスにおいて学修する。	【プログラム期間】 12月～翌年9月 【渡航期間】 随時(2週間以上)	全研究科	各プログラム 40名程度	6月上旬	9月中旬		
(OUICP-S) 大阪大学 ASEAN キャンパス キャリアアドバンス 英語プログラム in ブルネイ (国際交流科目「キャリアアドバンス英語プログラム I」[SDGsとアジア太平洋地域 I])	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム 大学	ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)において、参加学生が関心を持つSDGsについて学びつつ、プレゼンテーションスキルを中心とする英語能力の向上を図るプログラム。学生は、上の学びを通して自身のキャリアアドバンスについても考える。 *単位修得可能	8月～9月 (2～3週間程度)	全学部・研究科	15名程度	4月上旬	5月上旬		
(OUICP-S) 大阪大学 ASEAN キャンパス キャリアアドバンス 英語プログラム in フィリピン (国際交流科目「キャリアアドバンス英語プログラム II」[SDGsとアジア太平洋地域 I])	フィリピン	デ・ラサール大学	デ・ラサール大学(DLSU)において、参加学生が関心を持つSDGsについて学びつつ、プレゼンテーションスキルを中心とする英語能力の向上を図るプログラム。学生は、上の学びを通して自身のキャリアアドバンスについても考える。 *単位修得可能	2月～3月 (2～3週間程度)	全学部・研究科	15名程度	11月上旬	12月上旬		
(OUICP-S) 大阪大学 ASEAN キャンパス・SDGsフィールド スタディ パンブー：フィリピン (国際交流科目「海外フィールドスタディ A」[SDGs とアジア太平洋地域 I])	フィリピン	フィリピン大学	ASEAN キャンパスのパートナー校や連携機関などと協力し、地域が抱える課題を、様々な背景や関心を持つ人々とのコミュニケーションと現地における調査を通して学ぶ。 *単位修得可能	8月～9月 (1～2週間程度)	全学部・研究科 (学部2年生以上)	10名程度	4月上旬	5月上旬		
(OUICP-S) 大阪大学 ASEAN キャンパス・SDGsフィールド スタディ パンブー：雲南とベトナム (国際交流科目「海外フィールドスタディ B」[SDGs とアジア太平洋地域 I])	中国南部や 東南アジア	ベトナム科学技術アカデ ミー、ハノイ工科大学、 ベトナム社会科学アカデ ミー、紅河大学(中国) 等	ASEAN キャンパスのパートナー校や連携機関などと協力し、地域が抱える課題を、様々な背景や関心を持つ人々とのコミュニケーションと現地における調査を通して学ぶ。 *単位修得可能	2月～3月 (1～2週間程度)	全学部・研究科 (学部2年生以上)	10名程度	11月上旬	12月上旬		
海外フィールドスタディ C ケニアインターンシ ップ (国際交流科目「海外フィールドスタディ C」)	ケニア	特定非営利活動法人 「アフリカ児童教育基金 の会」	特定非営利活動法人「アフリカ児童教育基金の会」(ACEF)を受入機関とし、ケニア共和国エンブ市などにある ACEF の病院、学校、孤児院、フィールドオフィスなどでのエスノグラフィックなメソッドを用いたインターンシップを通して、ケニアにおける教育、医療、農林業の実態を現地に学ぶ。 *単位修得可能	随時 (1か月～6か月で調整可)	全学部・研究科	5名程度	4月上旬	12月末		
理工系学部学生のための 海外英語研修コース	米国ハワイ州	ハワイ大学	レベルに応じた英語集中トレーニング、理工系学部生向け特別レクチャー、工学施設へのサイトビジットと関連教育、現地学生との交流、寮生活、コミュニケーションスキルとプレゼンテーション力の向上を目的としたカリキュラム。 *単位修得可能	未定	理工系学部学生	未定	未定	未定		大学院工学研究科 / 工学部 教育学務国際室国際交流推進センター TEL: 06-6879-8972
理工系大学院生のための 海外研究発表研修コース (単位認定：工学英語 II)	米国 カリフォルニア州	カリフォルニア大学 デイビス校	英語での研究発表スキル獲得に向けたトレーニング、工学施設・企業・大学へのサイトビジットと関連教育、現地学生との交流、ホームステイ *単位修得可能	8月中旬～9月中旬 (4週間程度)	理工系大学院生 (博士前期・後期課程)	20名程度	4月上旬	5月中旬		E-mail: contact_cia@fsao.eng.osaka-u.ac.jp URL: http://www.fsao.eng.osaka-u.ac.jp/ japanese-students/o_training/
海外フィールドスタディ S	タイ バンコク	チュラロンコン大学、 マヒドン大学、 カセサート大学、 モンクット王トンプリ 工科大学	タイ学術コンソーシアムの4大学において実習を行うことにより、各学生が海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とする。また、準備から事後学習までの学習プロセスを学生が主体的にデザインし実行することを支援するとともに、調整力、コミュニケーション力、柔軟性といった、大学院修了後にプロフェッショナルとして自主的に活動し、また他者や他機関と協働するために必要な資質を養うことを目的とし、多角的視点を持って社会を批判的に思考し行動する学生を育成しようとするもの。 *単位修得可能	8月～9月 (約5週間)	理工系大学院生 (博士前期・後期課程)	25名程度	3月中旬	4月上旬		生物学国際交流センター Tel: 06-6879-7455 E-mail: info@icb.osaka-u.ac.jp
体験型科学英語学習による グローバル次世代科学者養成プログラム (単位認定：「理系科学英語夏期海外研修」)	オーストラリア シドニー	マッコーリー大学	科学英語を使った研究現場でのコミュニケーションスキルおよびプレゼンテーションスキルの向上を目的とした研修プログラム。 マッコーリー大学理学部での研究室見学、講義聴講、現地学生との交流、ホームステイなども含む。 *単位認定については理学部生は各自入学年度の便覧を参照、それ以外の学部生は所属の教務に確認してください。	8月～9月 (約5週間)	理学部生	25名程度	3月下旬	5月上旬		理学研究科 大学院係 Tel: 06-6879-6778 E-mail: ri-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp
カップリング・インターンシップ (CIS)	米国・ ドイツ(ベル ギー)(予定)	オハイオ州立大学・ KUルーベン大学(予定)	文系・理系の枠を超えた、本学の学生と海外大学の学生が共に海外で活躍する日系製造業でインターンシップを行う活動。現地活動は約10日間で、企業から提供された課題に全員で取り組み、異文化・異分野の仲間と共に活動する面白さ、大変さを体験し、将来グローバルで活躍する人材の素地を構築する活動である。実施基本言語は英語。	8月～11月頃の予定 (約10日間)	外国語学部・人文学研究科・ 経済学部(研究科)・人間 科学部(研究科)・基礎工 学研究科・工学研究科	合計8名	4月中旬	5月上旬		接合科学研究所 Tel: 06-6879-8695

海外留学時等の危機管理対応

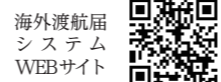
1. 渡航前に行う事項

1 留学・研修等に伴う危機管理に対する心構えと準備すべき事項

- (1) 危機発生の可能性があることを十分に認識しておく。
- (2) 危機発生時のシミュレーションを行う。
- (3) 健康状態のチェック(キャンパスライフ健康支援センターなどと相談や健康診断の受診)をする。

2 大阪大学での渡航前の手続きや行うべき事項

- (1) 海外渡航届システムにログインし、渡航情報等を登録する。
- (2) 危機管理に関する説明会やオリエンテーション等へ参加する。
- (3) 渡航期間が3か月未満の場合は、「たびレジ」に登録する。



3 海外留学保険及び海外危機管理サービスへの加入と確認すべき事項など

- (1) 留学・研修中の危機に備える保険(例:海外留学保険・学生共済等)に加入する。
- (2) 留学・研修中の安否確認や危機に備えるため、大学が契約する危機管理アシスタンス会社の危機管理サービスへの加入と渡航情報の登録を行う。
- (3) 航空券を手配した旅行会社や航空会社の危機発生時の補償等を確認する。
- (4) 渡航前に加入した保険の内容について大阪大学(部局)に連絡する。

4 国際情勢、渡航先の安全性についての情報収集の必要性

- (1) 国際情勢の変化や動向について把握する。
- (2) 渡航先の現地安全情報(例:外務省・在外公館のHPを活用)を把握する。
- (3) 渡航先の感染症の情報の把握(例:厚生労働省検疫所のHP)と必要な予防接種を受ける。
- (4) 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておく。

5 留学・研修先大学等の危機管理体制などについての情報収集

- (1) 危機管理体制や危機管理に関するオリエンテーションなどの実施状況を調査する。
- (2) 留学・研修先等で加入する危機管理に関する保険の種類や内容を把握する。

2. 渡航後に行う事項

1 在外公館への在留届提出と危険情報の把握

- (1) 災害やテロ等の緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように旅券法により、3か月以上外国に滞在する日本人は在留届の提出が義務づけられている。また、治安情勢が不安定な国や地域への渡航の場合は、滞在期間が3か月未満でも届け出るようにする。
- (2) 在外公館のウェブサイトなどで、定期的に留学先の危険情報について把握する。

2 留学・研修先等での危機管理体制把握と大阪大学への連絡

- (1) 留学・研修先等での危機管理に関する情報収集を行い、オリエンテーションなどには必ず参加する。
- (2) 留学・研修先等の緊急時の対応体制と連絡システムを把握し、大阪大学(部局)へ報告する。
- (3) 渡航後に加入した保険とその内容について大阪大学(部局)に連絡する。

3 自己の危機管理

- (1) 緊急連絡先(留学・研修先等の電話番号や住所など)を記したメモ等を外出の際には必ず携帯する。
- (2) 緊急時の家族への連絡体制の確認も行う。
- (3) 緊急時の大阪大学への緊急連絡体制を確認・準備する。
 - ・本人若しくは留学・研修先等の関係者などから連絡する体制を確保しておき大阪大学(部局)に連絡する。
 - ・留学・研修先等の関係者に緊急時の大阪大学(部局)への連絡先を知らせておく。
 - ・「海外留学時等の緊急連絡体制」(右記の国外連絡網)を基本に連絡等が行えるようにしておく。
- (4) 海外渡航中は自動車等の運転はしない(違反や事故の場合の手続き、賠償責任やコストの問題などあり)。
- (5) 「自分の身は自分で守る」という意識を持って常に行動する。

3. 危機に遭遇した場合の対応

- 1 留学・研修先等の緊急連絡先へ連絡し、その指示に従って行動する。
- 2 緊急連絡体制(右記)に基づき大阪大学(部局)へ連絡・相談する。なお、自ら連絡できない場合などは、留学・研修先や在外公館等の関係者に大阪大学(部局)への連絡を依頼する。
- 3 在外公館の連絡・指示に従って行動する。
- 4 家族へ連絡する。
- 5 大学が契約する危機管理アシスタンス会社及び保険会社にも連絡する。

4. 海外への派遣(留学・研修等)の実施、中止、延期、継続、途中帰国の判断基準

大阪大学の学生の皆さんの海外への派遣留学・研修等の実施、延期、継続、途中帰国の判断にあたっては、「海外安全ホームページ」(<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)の「海外危険情報」および「感染症危険情報」のレベルを基に判断します。学生の皆さんは、大学からの指示に従うようにしてください。

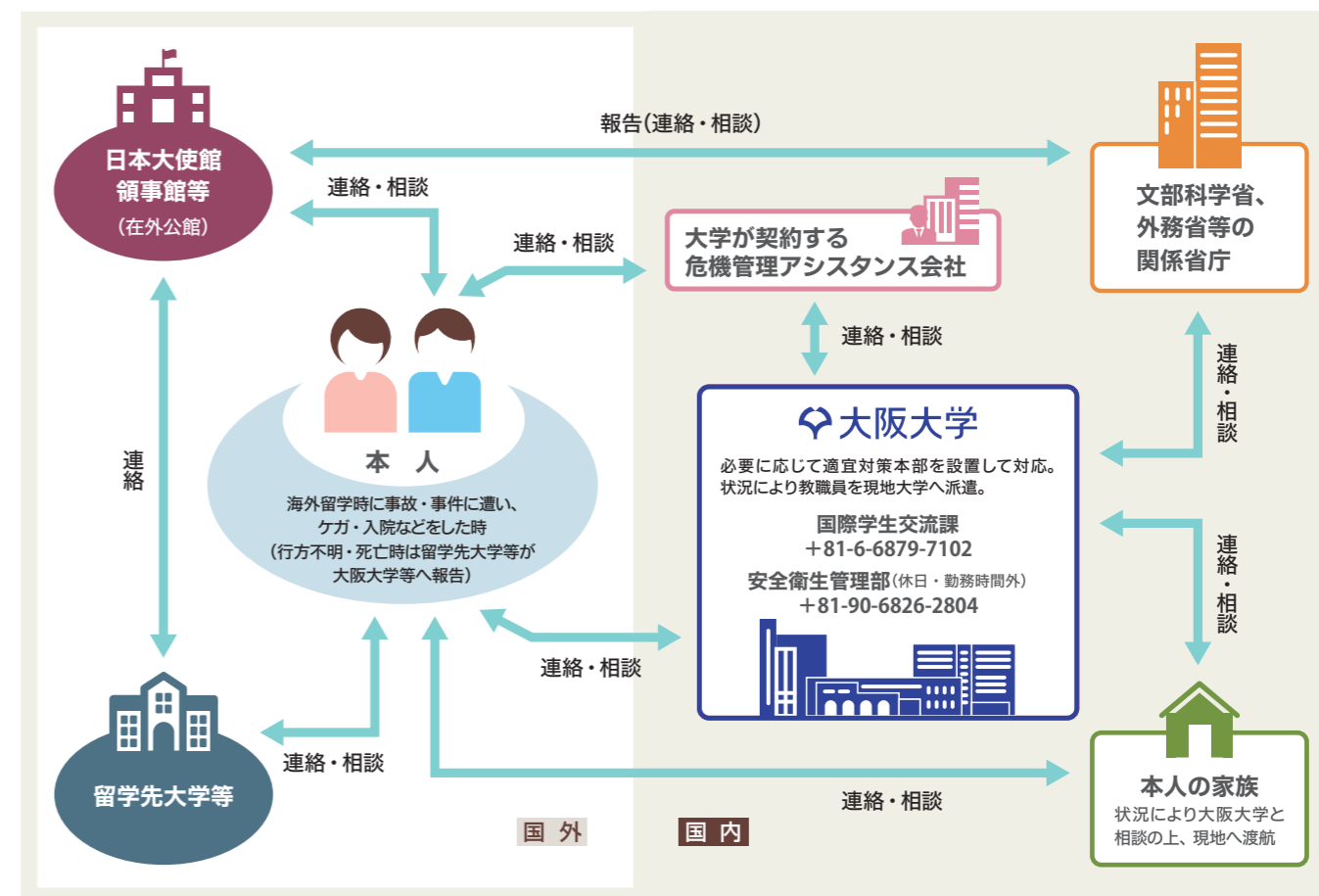
各々のレベルの種類と安全対策の目安は以下のとおりです。

■ ■ ■ ■ 「海外危険情報」 ■ ■ ■ ■ 「感染症危険情報」

- ■ 「レベル1:十分注意してください。」
その国・地域への渡航、滞在にあたって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。…実施、継続するが注意を払う。
- ■ 「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」
その国・地域への渡航、滞在は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。…延期もしくは中止を基本方針とする。
- ■ 「レベル3:渡航は止めてください。(渡航中止勧告)」
その国・地域への渡航、滞在は、どのような目的であれ止めてください。(場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)…中止、途中帰国する。
- ■ 「レベル4:退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)」
その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。
…中止、即刻帰国する。(退避勧告を無視した場合の本学の対応については、その都度関係機関と協議し、検討する。)

海外留学時等の緊急連絡体制

留学・研修先などで事件・事故等が発生した場合の連絡網の体制(国外連絡網)





留学希望者からの質問に 交換留学担当教職員と 交換留学経験者が本音で回答!

このQ&Aは、留学希望者のみなさんから受ける質問の中から、よくあるものをまとめたものです。留学に関するさまざまな質問に、長年交換留学を担当している教職員、経験者ならではの本音で答えています。「留学経験者の生の話をもっといろいろ聞いてみたい!」という方や、「個別に相談してみたい」という方は、お昼休みに各キャンパスで実施している留学相談の機会をぜひ活用してください。

■ 国際教育交流センター教員による海外留学に関する個別相談 (予約優先)

お問合せ先

■ 交換留学を実現した経験者による留学相談 (事前予約不要)

国際学生交流課: outbound@ciee.osaka-u.ac.jp

※ 詳細は本学ウェブサイトのイベント情報に掲載しています。

国際教育交流センター: go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp

1 留学時期・期間について

Q1 / 短期留学の場合、留学するタイミングはいつがいいでしょうか?

短期留学とは主に3か月未満の留学のことを言います。夏休みや冬休みといった長期休暇中の短期留学の場合は、比較的1-2年生でのタイミングが多いようですが、3年生、4年生になってからでも参加可能です。交換留学も、協定校によっては一学期が約3か月の大学もありますので、短期留学が可能です。(交換留学の期間は一年以内の一学期間又は複数学期の間です。)ただ、学修や成長の観点から、せっかく交換留学を利用するならば、より長期の留学をお勧めします。

Q2 / 交換留学等、長期留学の場合、留学するタイミングはいつがいいでしょうか? 就職活動との兼ね合いが気になります。

交換留学で最も多いのは、2年生で応募し、3年生の秋から1年間留学するパターンですが、この場合、就職活動の時期と重なる可能性も高いです。就職活動、インターンシップ、研究室活動など、学年が上がるにつれ忙しくなるのであれば、2年生時の留学も可能です。ただし、所属学部・研究科によっては留学開始時期に制限があるので、事前に確認してください。また大学間交換留学制度を利用する場合、1年生の1月から3月に出発する留学へ応募できません。就職活動は、大阪大学の就職活動支援システムのページも参考にしてください。

<https://cs-web.osaka-u.ac.jp/recruit/>

留学中もインターネットで情報を得る、海外での就職説明会に参加する、秋採用への応募の検討等、いろいろな手段を探ってください。大学間交換留学の場合、原則として、学内応募後の派遣期間延長・短縮はできません。応募時までに就職活動や大学院入試の時期等、帰国後を見据えて、自分で最良のスケジュールを選択してください。

Q3 / 学期途中で帰国した場合、帰国後の授業履修やゼミはどうなりますか?

学期途中からの授業履修は原則できません。各種留学に応募する前に帰国後のことを所属学部・研究科の教務担当係に相談のうえ、無理のないスケジュールを立ててください。

Q4 / 交換留学をする人は、1年間留年する人が多いと聞きますが、本当ですか? また、どうしても卒業時期を延ばしたくないのですが、可能ですか?

交換留学をして1年間留年する人は多いです。しかし、卒業時期を延長せずに交換留学へ行くことは可能です。状況は各自で違いますので、将来を見据えて具体的に留学したい大学、留学期間、大阪大学での生活、希望進路を調べてください。自分の中での優先順位を決めたうえで、指導教員や所属学部・研究科の教務担当者としてしっかり相談しておくことが大切です。

2 留学に必要な語学力について

Q5 / TOEFL 等、語学能力試験の対策はどうすればいいですか? どのように勉強すればいいでしょうか?

人によって、語学能力試験対策方法は様々です。勉強方法として、まずは模擬試験問題集等も活用して自分の得意・不得意分野を明確にしてください。実際に語学能力試験を受けるのも一つの手です。希望する協定校が要求するスコアに応じて今後の目標を定め、勉強の方向性を決めていってください。国際部国際学生交流課ではIELTS/ TOEFL iBT®/ GRE®のテキストの貸出しを行っていますので、希望者は問い合わせてください。

3 現地での生活について

Q6 / 現地での授業はどのような雰囲気ですか?

日本と比べて課題や予習・復習の量が多く、ディスカッションやプレゼンテーション等で自分の意見を表明する場も多いと言われてます。特にディスカッションでは活発な意見が飛び交い、留学生に対しては、出身国の視点からの発言を求められる場合もあるようです。

Q7 / 授業についていけないのではと不安なのですが。

留学開始後の授業中の不安は、担当教員やTA、留学生センターに相談すると良いでしょう。留学前から不安になりすぎることはありません。確かに最初は話が聞き取れない、ディスカッションについていけない等、苦労が多いようすし、授業スタイルの違いや課題の多さに驚く留学経験者もいます。しかしそれぞれ相当な努力を積み重ねて勉強し、結果的に自分自身の成長や語学の向上につながっています。自分のできる範囲で精一杯努力し、主体的な行動を心がけましょう。

Q8 / 留学中にアルバイトやインターンシップはできますか?

通常のビザや滞在許可申請には、留学して現地です生活するのに十分な資金があると証明する必要があります。よって、留学の資金を補うために現地でアルバイトを行うことはできません。勉学に専念できるような資金計画を立ててください。

4 留学の費用について

Q9 / 費用はどれくらいかかるのですか?

一つの目安は、日本での一人暮らしにかかるお金を基準として考えることです。現地での生活費(家賃や食費、その他)、教材費等はイメージしやすいと思います。留学の場合、その他に基本的な必要経費として、ビザ申請にかかる費用、海外旅行傷害保険への加入料、渡航費、引越代金といったものがあげられます。ただし、個々の状況により変動しますし、特に生活費は、現地の物価や寮への入居の有無等の条件に大きく左右されます。また、長期休暇を利用して旅行に行くのであれば、その費用も念頭に置いておきましょう。生活費はJASSO(独立行政法人日本学生支援機構)のウェブサイトの資料も参考にしてください。<https://ryugaku.jasso.go.jp/index.html>

Q10 / 奨学金はありますか? また、奨学金の併願や併給は可能ですか?

本ガイドブックのp.27-28には、大阪大学へ申請を行う奨学金の情報を掲載しています。実際の募集はKOAN掲示板に掲載しますので、見逃さないように注意してください。個人で申請する奨学金は、ガイドブックに掲載しているもの以外にもありますので、JASSOのウェブサイト等で検索してみてください。<https://ryugaku.jasso.go.jp/index.html>
なお、奨学金によっては、併願・併給を認めないものや、併給金額に制限がありますので、各奨学金の要項を確認し、各自の責任で規定を厳守してください。

5 留学先について

Q11 / 留学したいという気持ちはあっても、どの国のどの学校がよいかわかりません。

留学先だけは、自分で決めなければなりません。同じ国でも、複数の学部を持った総合大学と、カレッジのような小規模のアットホームな大学では、留学生の割合や環境も異なります。協定校の公式ウェブサイトなどで調べてみる、先輩の話聞いてみるなどして、自分に合った留学先を見つけてください。

Q12 / 交換留学の場合、協定校での専攻は自由に選べるのでしょうか? また、開講されている科目は、現地の学生と同様に履修できるのでしょうか?

交換留学の場合、協定校での専攻は原則、大阪大学での専攻と同じか似た専攻を選ぶことになります。また、開講されている科目も、全てを履修できるわけではありません。派遣先の協定校での学位取得はできず、交換留学生と協定校の正規課程に入学した学生とは、厳密には立場が異なるため、協定校によっては、交換留学生を受け入れていない学科や専攻があります。Business School, Law School, Medical School等、専門育成を目的とする学部や大学院では交換留学の対象外とするところが多いので、注意してください。なお、交換留学生の履修を認めない科目や、prerequisites(履修条件)を定めている科目もあります。また、履修可能な科目でも、希望する講義が開講しなくなった、抽選に漏れた等、必ずしも当初の予定どおりに履修できるとは限りません。大学間交換留学を利用し、留学先で全く新しい分野を学び始めたい学生は、事前に国際部に相談してください。

5 留学先について

Q13 / 協定校についての情報はどこで得られますか？

各協定校の公式ウェブサイトで最新の情報を得ることができます。交換留学生用のページがある協定校も多いので、「Exchange 大学名」でそれを探してみてください。

Q14 / ガイドブックに載っている情報と、協定校の公式ウェブサイトの情報が違うのですが？

協定校の公式ウェブサイトの情報が最新で正しい内容です。本ガイドブックは2024年2月現在の情報を基に作成しています。それ以後の最新情報は反映されていないので、必ず交換留学応募時までに、協定校の公式ウェブサイト等で最新の留学の要件等を各自で調べておいてください。

6 交換留学制度について

Q15 / どのような制度ですか？

本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学(協定校)に、大阪大学に在籍した状態で、最短で1学期、最長で1年間留学する制度です。ここでいう1学期とは、大阪大学の学期ではなく、各協定校の学期のことで、クォーター制の大学は9~12月/1~3月/3~6月、セメスター制の大学は8~12月/1~5月のことが多いですが、国・地域、年度によって異なります。また、交換留学生は協定校で学位を取得することはできません。

Q16 / 大学間協定と部局間協定の違いについて教えてください。

大学間協定とは、海外の大学等と大阪大学の大学同士で結んでいる協定のことで、部局間協定とは、学部と学部、研究科と研究科など部局間で結んでいる協定のことで、大学間協定校への交換留学は、大阪大学の正規生であれば所属学部・研究科を問わず応募できますが、部局間協定校は協定を結んでいる本学学部/研究科等所属の学生しか応募できません。

Q17 / 交換留学と私費留学とではどのような違いがありますか？

留学先の選択肢、学費の納入先、留学中の大阪大学での身分が異なります。

留学先の選択肢	交換留学では、留学先は協定校に限られますが、私費留学では条件さえ満たせば自身で留学先を自由に選べます。
学費の納入先	交換留学では学費は大阪大学に収め、協定校に学費を納める必要はありません。私費留学では留学先に学費を納めます。休学する場合、大阪大学に学費を納める必要はありません。
留学中の大阪大学での身分	交換留学中は大阪大学を休学することはできず、大阪大学での身分は「留学」となり在学期間に通算されます。私費留学では、留学中に大阪大学を休学できます。休学して留学した場合は、在学期間には通算されませんので、卒業時期を休学期間に応じて延長する必要があります。

Q18 / 大学院生でも交換留学制度を利用することができますか？

可能です。ただし、学部生のみを対象としている協定校や、大学院レベルの学生が学部レベルへ留学することを認めない協定校もありますので、事前によく調べておいてください。学部生の留学手続きよりも条件が厳しい場合もあります。なお、大学院生の場合、留学先の指導教員は、原則自分で探すようにしてください。協定校によっては、事前の内諾が求められます。

Q19 / 外国人留学生ですが、交換留学制度を利用することができますか？

可能です。ただし、自国籍の学生は受入れない協定校もありますので、注意が必要です。また、国費外国人留学生等、交換留学制度の利用に制限がある場合がありますので、詳しくは所属学部・研究科にお問い合わせください。

Q20 / 語学留学など異なる交換留学ならではの良さは何ですか？

交換留学は、より有意義な留学をしたいと考える人に適した制度です。
 ■ 語学力を伸ばすと同時に、深い知識を身につけるチャンスが与えられる。 ■ 交換留学では、本学と協定校、双方の大学のサポートが受けられる。
 ■ 協定校のレベルが高い。 ■ 日本以外の国・地域からの交換留学生との交流の場が多く設けられる。
 語学留学は「語学力の向上」を目的とする留学ですが、交換留学は修学可能な語学力を前提に、「言葉を使つての修学」が求められますので、留学先の言語で修学するための努力が肝心です。

7 大学間交換留学の学内選考、応募について

Q21 / 人気の留学先はどこですか？また、学内選考での競争率はどのくらいですか？

英語圏の中でも、語学要件や成績要件が比較的低い北欧や北米の大学が特に人気があります。非英語圏では、ドイツ、フランス、中国がここ数年人気です。募集人数は毎年変化するため、競争率は一概には言えません。英語圏への留学を希望する人は、選択肢を増やせるように、語学能力を向上させ、GPA 3.0 以上を目指して早めに準備をしてください。

Q22 / まずは何から準備をはじめればよいのでしょうか？

大学間交換留学の準備の詳細は、本ガイドブックのIII章を参考にしてください。時間に余裕をもって内容を練り、不備が無いように心がけてください。

Q23 / 交換留学をするにあたり、応募資格や成績の基準はあるのでしょうか？

あります。協定校から交換留学生に対し、成績、語学能力、留学開始時期の在籍学年等の要件が設定されている場合は、学内選考の基準もそれに従います。つまり、学内選考へ応募する時点で、希望する協定校の基準を満たしていなければなりません。所属学部等によっては独自のルールで留学を開始できる時期を定めているところもありますので、詳細は各所属学部の教務担当係にお問い合わせください。

Q24 / 留学先では主に英語を使用する予定です。語学能力について、教えてください。

本学の基準スコアは(TOEFL iBT 79、IELTS 6.0)です。ただし、各協定校の基準がそれよりも高い場合、交換留学への応募の時点で協定校基準のスコアを取得している必要があります。また、本学の基準スコアより低い語学要件がある協定校に留学する場合も、英語で協定校の授業を履修する場合は、本学の基準スコアを満たしている必要があります。協定校によっては、学部、専攻ごとにスピーキング、ライティング等、各セクションの基準点が設けられています。事前に希望する学部、専攻等が要求するスコアを必ず確認してください。

Q25 / 留学先では、英語以外の言語での科目の履修を希望していますが、語学能力の証明はどうしたらいいのでしょうか？

協定校が定める言語の公式スコアがある場合、交換留学への応募の時点で協定校基準のスコアを取得している必要があります。協定校が、現地で使用する言語のスコアを定めていない場合は、語学教員の証明書(推薦書)でも交換留学への応募が可能です。そして、2つ以上の言語を留学先での勉学・研究に使用する場合は、使用予定の言語全ての語学能力を証明する書類を準備してください。

Q26 / 第二希望以下の併願校はどのように決めるのですか？

第一希望の協定校を選んだ時と同じ観点から選んでください。内定先が第二希望以下になる可能性は十分ありますので、後悔しないよう、慎重に希望順位を決めてください。特に、英語圏を希望する人は、第一希望の倍率が高いと予想されますので、慎重に検討してください。

Q27 / 新型コロナウイルス等の留学先地域での感染症の蔓延や、現地の治安の悪化などにより、留学を延期・中止しないといけない場合がありますか？また、それはどのような場合ですか？

大阪大学では、外務省の「海外安全ホームページ」の危険情報および感染危険情報レベルにより、学生の海外への派遣留学・研修等の実施、延期、継続、途中帰国の判断をします。皆さんの身の安全を守るため、大学の判断・指示には従うようにしてください。詳しくはこのガイドブックのp.22を確認してください。

1. 奨学金制度案内

◆ 1. 大阪大学の奨学金：給付型

No.	奨学金名称		対象	金額	対象期間	備考
	学部	院生				
1	大阪大学交換留学奨学金(派遣)		3か月以上1年以内の交換留学を行う学生 対象(博士後期課程の学生は対象外)	月額5万円(年間60万円を上限とし、留学開始時に一括振込み)	任意(原則3か月から10か月程度まで、4月から翌年3月までに留学開始)	本学が認めた派遣期間(ただし、予算の都合により、派遣期間の一部のみ支給することがある。)
	○	△				
2	大阪大学未来基金 研究留学助成金		原則3か月から10か月程度まで、4月から翌年3月までに研究留学を開始する学生対象	往復渡航費10・20万円(派遣先による)及び月額6・7・8・10万円(派遣先による)	任意(原則3か月から10か月程度まで、4月から翌年3月までに留学開始)	3か月以上の留学を優先
	×	○				
3	大阪大学未来基金 住友化学グローバルリーダー育成奨学金		本学の正規生で、海外のトップレベル大学または研究機関へ留学する者(将来、日本の製造業にて勤務する意思を有する者)	留学期間が6か月未満:60/80万円 留学期間が6か月以上:90/120万円	任意(原則3か月以上)	
	○	○				

◆ 2. 大阪大学からの推薦が必要な奨学金

(1) 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金：給付型

※集時期等は一部昨年度のものを参考に掲載しています。今年度の募集は案内があり次第、KOAN掲示板でお知らせします。

No.	奨学金名称		対象	金額	対象期間	備考
	学部	院生				
1	海外留学支援制度(協定派遣) ※大学間/部局間交換留学対象プログラム		日本国籍または日本永住権を保持する本学の正規生で、3か月以上1年以内の交換留学を行う学生	月額6・7・8・10万円(派遣先による) 渡航支援金 13・16万円(条件有り)	本学が認めた派遣期間	
	○	○				
2	海外留学支援制度(大学院学位取得型)		海外の大学等に留学し、修士または博士の学位取得を目指す学生(留学生不可)	月額15万円～35万円(派遣先地域による) 渡航支援金16万円 授業料は支給しない ※予算の状況により変更となる場合がある	修士の学位を取得するコースは2年、博士の学位を取得するコースは原則3年を限度とする	在学中だけでなく、卒業後の申請も可能
	○	○				
3	官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム～		正規生で28日以上1年以内(3か月以上を推奨)留学を行う学生(留学生不可)	奨学金月額6・12・16万円(収入、派遣先による) 留学準備金 アジア等15万円/その他25万円、授業料30万円/年	28日以上1年以内	
	○	○				

(2) 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金：貸与型(返還の必要あり)

No.	奨学金名称		対象	金額	対象期間	備考
	学部	院生				
1	第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象) ※無利子貸与型		海外留学支援制度(大学院学位取得型)(上記2(1)・2)の採用者で、経済的理由により修学に困難があると認められる者	【貸与月額】 修士課程相当:5万円・8万8千円の選択制 博士課程相当:8万円・12万2千円の選択制 【入学時特別増額貸与奨学金(有利子)】 10・20・30・40・50万円から選択した額を初回振込時に併せて振込	海外留学支援制度(大学院学位取得型)の支給回数と同じ月数	
	○	○				
2	第二種奨学金(海外) ※有利子貸与型		海外の大学等へ学位取得のための留学を予定する者(留学生不可、休学留学は対象外)	【貸与月額】 大学院に進学:2～12万円のうち1万円単位で選択 大学院に進学:5・8・10・13・15万円の選択制 【入学時特別増額貸与奨学金】 10～50万円のうち10万円単位で選択	海外の大学に進学した月から在籍する大学の標準修業年限の終期まで	卒業又は修了後3年以内であれば申請可能
	○	○				
3	留学時特別増額貸与奨学金 ※有利子貸与型		JASSO国内奨学金(第一種または第二種)を受けている学生で、3か月以上の留学に際して、経済的な支援を必要とする者(その他の条件は「備考」参照)	【貸与額(一時金)】 10～50万円の10万円単位で選択	原則として留学開始時に一括振込(留学前～留学開始後3ヶ月以内に申請)	詳細については以下のページでご確認ください。 http://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/term_alter
	○	○				

(3) その他財団等奨学金 ※募集時期等は昨年のもので、今年度の募集は案内があり次第、KOAN 掲示板でお知らせします。

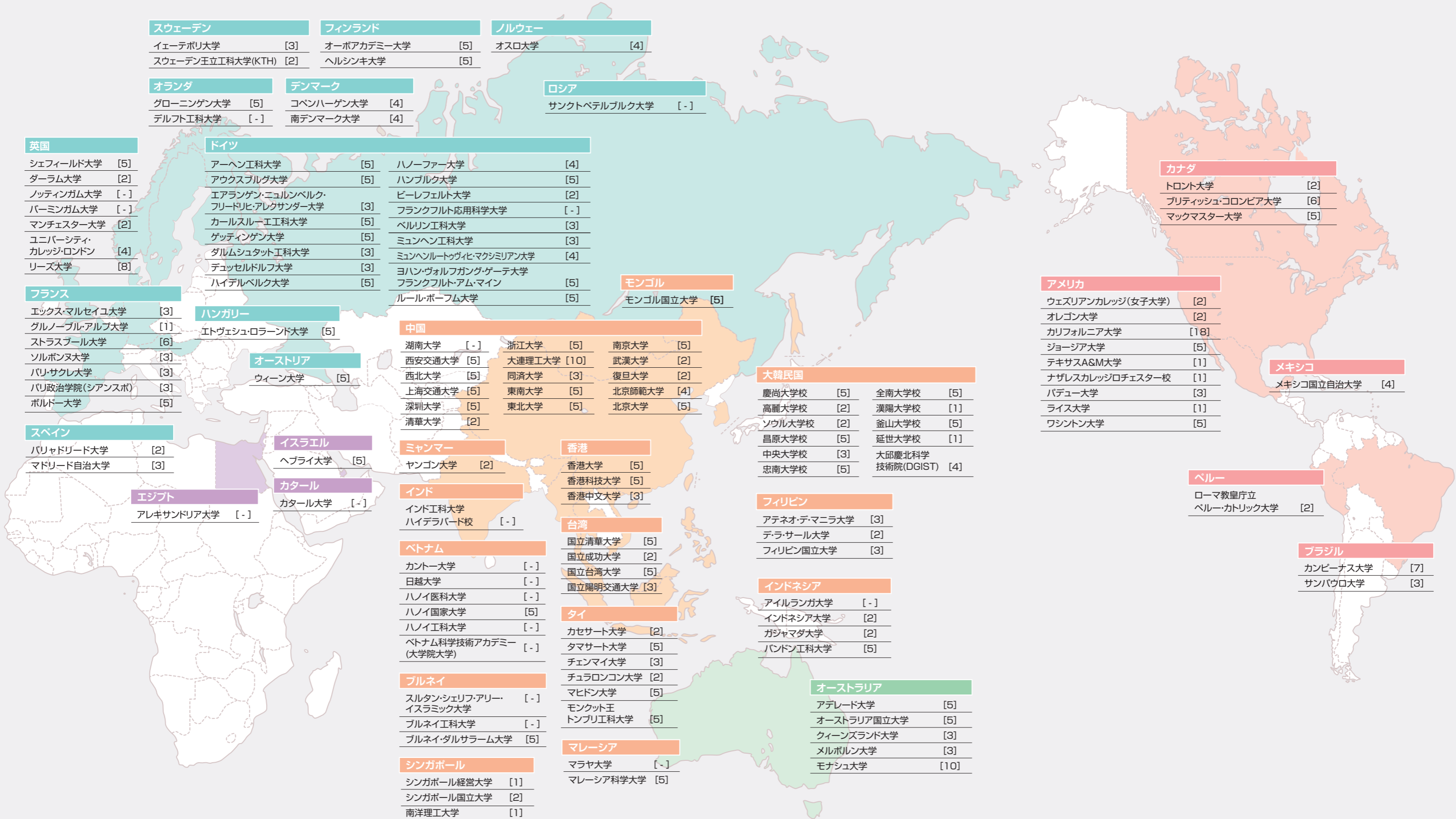
No.	団体名称(奨学金名称)		対象	金額	対象期間	備考
	学部	院生				
1	業務スーパー・ジャパンドリーム財団		日本国籍を有する本学の学部生で、6か月以上または1学期以上の交換留学をする者	月額15万円/20万円(派遣先による)、 留学一時金15万円/25万円(派遣先による)	本学が認めた留学期間(12か月以内)	給付型奨学金との併給は不可
	○	×				
2	大遊協国際交流・援助・研究協会		日本国籍又は日本における永住権を保持している大阪府内に居住する本学の学部生で、8か月から1年の交換留学をする者	月額10万円	8か月から1年間	給付型奨学金との併給は不可、また他の奨学金受給を理由に辞退不可
	○	×				
3	TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム		日本国籍または日本永住権を保持する学部生で、アメリカへ約1年間(8か月～10か月)交換留学をする者	180万円 ※留学準備金として45万円を支給し、8月から翌年4月まで月額15万円を支給	8月または9月から1年間(約8～10カ月間)	給付型奨学金との併給は不可
	○	×				
4	阪和育英会		本学の学部生で、交換留学をし、留学後は本学に戻り学業の継続または学位の取得をする学生	月額7万円、留学準備金15万円	原則として1年間(6か月以上2年以内、大学付属の機関における語学研修期間も含む)	他財団との併給は可能だが、当財団内での併給は不可、また他の奨学金受給を理由に辞退不可
	○	×				
5	フクシマグローバル人材支援奨学財団		25歳以下の日本国籍を有する学部生で、諸外国の大学等へ留学する者	月額10万円、留学準備金10万円	6か月または1学期以上12か月以内	給付型奨学金との併給は不可、また他の奨学金受給を理由に辞退不可
	○	×				
6	アジア国際交流奨学財団(川口静記念奨学生)		申請時年齢30歳以下の日本国籍を有する正規生で、アジア圏の大学への学位留学、交換留学、認定留学等、正式な受入許可書が発行される留学をする者	月額4万円(年額48万円)	9月より1年間	給付型奨学金との併給は不可
	○	○				
7	浦上奨学会		広島県出身者で日本国籍を有し、留学先の履修期間が6か月以上12か月以内の理工系、農学系、医学系等理系科目を専攻している学生	月額10万円、一時金20万円	6か月以上12か月以内	給付型奨学金との併給は不可
	○	○				
8	KDDI 財団(語学留学助成)		日本国籍を有する本学の正規生で、ビルマ語、モンゴル語、カンボジア語を習得するためにミャンマー、モンゴル、カンボジアの大学へ留学する者	55万円程度(一括支給)	12月から翌年11月末日の間に開始する留学	
	○	○				
9	佐藤陽国際奨学財団		日本国籍を有する本学の正規生で、ASEANと南西アジア18か国へ6か月以上1年以内の交換留学をする者	月額8万円(ただしシンガポールは18万円)、 渡航費25万円、交換留学一時金15万円、保険料・海外安全危機管理サービス費の実費上限15万円	6か月以上12か月以内	給付型奨学金との併給は不可
	○	○				
10	寺浦さよ子記念奨学会		日本国籍を有する本学の正規生で、海外の大学または大学院に留学する者	月額10万円、および支度一時金(60万円× 留学月数÷12)	概ね半年以上、原則1年以内	
	○	○				
11	吉田育英会		日本国籍を有する学士号以上の学位を留学開始までに取得している35歳未満の学生で、人文科学系分野、社会科学系分野または自然科学系分野で留学をする者	月額2500ドル、学費合計250万円以内の実費、往復の渡航に要する交通費	奨学金の支給を開始した月から2年以内※ただし、博士号取得を目的に留学する場合、審査のうえ1年以内の延長を認めることがある	
	○	○				
12	経団連国際教育交流財団(日本人大学院生奨学金)		日本国籍を有し、応募時に大学院に在学中、応募年度末において在学期間が修士・博士通算5年以内の者で海外の大学、大学院へ留学する学生	350万円/年	留学を開始する年度中の新学期からの留学先大学在学期間中(1年間または2年間)	給付型奨学金との併給は不可
	×	○				
13	KDDI 財団(日本人留学助成)		日本国籍を有し、法律、政治、経済、社会、文化、技術、医療の各分野において国際的視野に立ち 社会に貢献するテーマの研究を行う35歳以下の学生	月額25万円	最長2年(留学期間は1年以上あること)	
	×	○				
14	竹中育英会		日本国籍を有し、海外の大学院へ自然科学およびその応用分野を専攻予定で学位取得を目的として留学する学生(原則として修士課程留学者は申請時27歳以下、博士課程留学者は申請時30歳以下に限る)	授業料等大学への納付金として250万円を上限とする実費、及び滞在費・渡航費等に充当するものとして年額200万円を上限とする費用の合計金額を実状に応じて支給	留学先大学の学位取得のための最短修業年限(修士号取得の場合は2年、博士号取得の場合は3年、修士・博士号併せ原則5年以内)	給付型奨学金との併給は不可
	×	○				

2. 大阪大学・学生交流協定校（大学間）一覧（133校）

（2024年2月現在）

◎募集人数は大学間交換留学2024年7月から2025年6月派遣(2023年9月募集分)の募集実績です。なお、募集人数は年度により異なります。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/action/exchange>



情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。

情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。

2024年3月現在

3. 大学間学生交流協定校情報

掲載されていない協定校の情報については、国際部国際学生交流課へ問い合わせてください。 2024年3月現在

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力・留学資格要件 (協定校のウェブサイトで必ず確認すること)	その他
エジプト	アレキサンドリア大学 Alexandria University	第1セメスター:9月~1月 第2セメスター:2月~5月	アラビア語	
イスラエル	ヘブライ大学 Hebrew University of Jerusalem	第1セメスター:10月~1月 第2セメスター:3月~6月	英語(TOEFL iBT 80以上/IELTS 6.0以上)及びヘブライ語 学部:GPA3.0/4.0以上 大学院:GPA3.2/4.0以上	*Faculty of Social Sciencesは科目履修のみ受入可
カタール	カタール大学 Qatar University	秋学期:8月~12月 春学期:1月~5月	アラビア語/英語(学部レベル TOEFL iBT 61以上/IELTS 5.5以上) ※注2 GPA2.0-2.3	*学部・専攻によって必要なGPAが異なるため要確認
インド	インド工科大学ハイデラバード校 Indian Institute of Technology, Hyderabad	第1セメスター:7月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語 ※注2	*交換留学不可の学部については要確認
インドネシア	アイルランガ大学 Universitas Airlangga	第1セメスター:9月~1月 第2セメスター:2月~6月	英語(TOEFL iBT 70以上/IELTS 5.0以上(大学院(AMERTA): TOEFL iBT 80/IELTS 5.5以上) ※注2 学部2年以上 GPA3.0/4.0以上(AMERTAプログラムの場合)	*交換留学生はAMERTAプログラム(Academic Mobility Exchange for Undergraduate at Airlangga)、もしくはLINGUAプログラム(Learning Indonesian Language at Universitas Airlangga)のいずれかのプログラムに応募可能 *交換留学申請時に英語の公式語学能力証明書の提出が必要
	インドネシア大学 Universitas Indonesia	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:2月~6月	英語(TOEFL iBT 80以上/IELTS 6.5以上) インドネシア語(Bahasa Indonesia Certificate/TIBA Test (必要なレベルは各自で確認)) 学部2年以上、GPA3.0/4.0以上	
	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:2月~6月	英語(TOEFL iBT 70/IELTS 5.5) インドネシア語(Bahasa Indonesia Certificate (必要なレベルは各自で確認)) GPA3.0/4.0以上 学部2年あるいは3年	*Doctoral Course への留学不可 *インドネシア語で授業を受ける場合も、原則英語の語学能力証明書が必要 *交換留学プログラムは原則英語で実施。インドネシア語の授業は正規生優先のため、履修できない可能性あり
	バンドン工科大学 Institut Teknologi Bandung	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:2月~6月	英語(及びインドネシア語) IELTS 5.5以上 ※注2	*申請時に英語の語学能力証明書が必要
シンガポール	シンガポール国立大学 National University of Singapore	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語(TOEFL iBT 100以上/IELTS 6.5以上) 学部2年以上、成績"B"以上("C"以下がないこと)	*卒業年度時の留学は不可 *学部・専攻によって留学不可及び履修制限があるため要確認
	シンガポール経営大学 Singapore Management University	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~4月	英語(TOEFL iBT 93以上 / IELTS 7.0以上) 学部2年以上、学部生のみ	
	南洋理工科大学 Nanyang Technological University	秋学期:8月~12月 春学期:1月~5月	英語(TOEFL iBT 90以上/IELTS 6.0以上) 学部2年以上、CGPA 3.3/5以上	*School of Computer Science and Engineering (SCSE)は留学不可 *学部・専攻によって留学不可及び履修制限があるため要確認
タイ	カセサート大学 Kasetsart University	International programs (学部生・大学院生) 第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月 Thai/English language programs (学部生のみ) 第1セメスター:6月~11月 第2セメスター:11月~4月	英語及びタイ語 ※注2 GPA2.0/4.0以上	*申請時に英語の語学能力証明書が必要 *International /English programsは英語での履修のみ *学部・専攻及び大学院レベルのプログラムによって語学能力要件が異なるため要確認
	タマサート大学 Thammasat University	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語及びタイ語 ※注2 学部2年以上、GPA3.0/4.0以上	*学部・専攻によって必要な語学スコア及びGPAが異なるため要確認
	チェンマイ大学 Chiang Mai University	第1セメスター:6月~10月 第2セメスター:11月~4月	英語 (TOEFL iBT 61以上 / IELTS 5.0以上) 及びタイ語 ※注2 学部2年以上、GPA3.0/4.0以上(学部生)、 GPA3.25/4.0以上(院生)	*学部・専攻によって必要な語学能力スコア及びGPAが異なるため要確認 *申請時に英語の語学能力証明書が必要
	チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月 Trimester System 第1セメスター:8月~11月 第2セメスター:12月~3月 第3セメスター:4月~7月	タイ語又は英語 (TOEFL iBT 79又はIELTS 6.5(各スコア 6.0以上)以上/BALAC programはIELTS 7.0以上) 学部2年以上、GPA2.75/4.00以上	*申請時に英語の語学能力証明書が必要(例外あり) *秋学期から1年(2学期)の留学のみ応募可能 *大阪大学では本募集のみで募集を行う *学部によって言語要件が異なるため要確認
	マヒドン大学 Mahidol University	International College 第1学期:9月~12月 第2学期:1月~4月 第3学期:4月~7月 International College 以外 第1学期:8月~12月 第2学期:1月~5月	英語(TOEFL iBT 79以上/IELTS 6.0以上) 及びタイ語 GPA2.75/4.0以上、学部2年以上	*申請時に英語の語学能力証明書が必要
モンクット王トンブリ工科大学 King Mongkut's University of Technology, Thonburi	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語 TOEFL ITP 500又はIELTS 5.0 ※注2 学部2年以上	*申請時に英語の語学能力証明書が必要	
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語 学部:TOEFL iBT 79 / IELTS 6.0 大学院:TOEFL iBT 90 / IELTS 6.5	*学部生の大学院レベルの履修不可 *大学院生の学部レベルの履修は可
	デ・ラ・サール大学 De La Salle University	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~4月 第3セメスター:5月~8月	英語 TOEFL pbt 550以上/TOEFL iBT 79/ IELTS 6.0以上 CGPA3.0/4.0以上	*申請時に英語の語学能力証明書が必要
	フィリピン国立大学 University of the Philippines	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語 ※注2 GPA3.0/4.0以上	*以下の専攻への留学は不可 College of Law, College of Medicine, College of Nursing, College of Dentistry *語学要件については各コース毎に異なるため要確認
ブルネイ	ブルネイ工科大学 Universiti Teknologi Brunei	第1セメスター:7月~11月 第2セメスター:1月~5月	英語(IELTS 6.0以上/TOEFL 550以上) 学部2年以上、CGPA2.5/4.0以上	
	ブルネイ・ダルサラーム大学 Universiti Brunei Darussalam	第1セメスター:7月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語(IELTS 6.0以上/TOEFL 550以上) 学部2年以上、CGPA2.5/4.0以上	*マレー語の授業の受講は原則不可 *graduate moduleへの留学は不可
	スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学 Sultan Sharif Ali Islamic Universit	第1セメスター:8月~12月 第2セメスター:1月~5月	英語又はアラビア語 ※注2 学部2年以上	

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力・留学資格要件 (協定校のウェブサイトで必ず確認すること)	その他
ベトナム	日越大学 Vietnam Japan University	第1セメスター:9月~1月 第2セメスター:2月~6月	英語及びベトナム語 ※注2	*学部・専攻によって語学要件及び成績要件異なるため要確認
	ハノイ医科大学 Hanoi Medical University			*医学系分野のみ
	ハノイ国家大学 Vietnam National University, Hanoi	第1セメスター:8月~1月 第2セメスター:1月~6月 (1年間の留学の場合は留学開始は第1セメスターから)	英語 (IELTS 5.5以上)又はベトナム語 ※注2 学部2年以上 GPA2.8/4.0以上	*申請時に英語の語学能力証明書が必要
マレーシア	ベトナム科学技術アカデミー (大学院大学) Vietnamese Academy of Science and Technology			*大学院生のみ
	マレーシア科学大学 Universiti Sains Malaysia	第1セメスター:8月~2月 第2セメスター:3月~8月	英語 TOEFL iBT 79-80以上 / IELTS 5.0以上 ※注2	*申請時に英語の語学能力証明書が必要
ミャンマー	ヤンゴン大学 University of Yangon	第1セメスター:12月~3月 第2セメスター:6月~9月	英語又はミャンマー語 ※注2	
モンゴル	モンゴル国立大学 National University of Mongolia	春学期:2月~7月 秋学期:9月~12月	モンゴル語 GPA2.5/4.0以上	
韓国	慶尚大学校 Gyeongsang National University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月 (留学開始はいずれの学期からも可能)	韓国語(及び英語) ※注2	*大学院生の留学は専攻の教授の許可が必要
	高麗大学校 Korea University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月	韓国語及び英語 ※注2 学部2年以上、GPA2.5/4.0以上	*以下の専攻への留学は不可 Medicine, Nursing, Pharmacy, Law, Teacher Education, School of Cybersecurity (Department of Cyber defense), Art & Design and all courses at Sejong Campus
	ソウル大学校 Seoul National University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月	韓国語(TOPIK Level 5以上)又は英語(TOEFL iBT 88以上 / IELTS 6.0以上) 学部2年以上 学部生:GPA2.5/4.0以上 大学院生:GPA3.0/4.0以上	*学部・専攻によって履修制限があるため要確認
	昌原大学校 Changwon National University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月		
	中央大学校 Chung-Ang University	秋学期:9月~12月 春学期:3月~6月	学部:韓国語及び英語 ※注2 大学院:英語 (TOEFL iBT 80以上 / IELTS 5.5以上) ※注2 GPA1.5/4.0以上、学部3年以上	*以下の専攻への留学は不可 School of Medicine, School of Pharmacy, School of Nursing, School of Law *大学院生は以下の専攻のみ留学可 Graduate School of International Studies, MBA
	忠南大学校 Chungnam National University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月	韓国語(TOPIK Level 3以上)又は英語 ※注2	*以下の専攻への留学は不可 Medicine, Law, Nursing *Korean Language Course 受講可
	全南大学校 Chonnam National University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月	韓国語又は英語 ※注2	*学部生のみ Korean Language Course 受講可(Language Course のみの留学不可)
	漢陽大学校 Hanyang University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月	韓国語(TOPIK Level 3以上)又は英語(TOEFL iBT 72以上 / IELTS 5.5以上) ※注2 cGPA2.4/4.0以上	*大学院生の留学は学部レベルの履修のみ可(ソウルキャンパスのみ) *以下の専攻への留学は不可 College of Medicine, School of Nursing, College of Pharmacy, MBA, Division of Industrial convergence, Department of Data Science, Graduate School (All departments) *学部・専攻によって履修制限があるため要確認 *申請時までに1セメスター終了していること
	釜山大学校 Pusan National University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月	英語又は韓国語 ※注2 学部2年以上	*Korean Language Courses 受講可(Language Courses のみの留学不可) *大学院生は1セメスター終了していること *以下の専攻への留学は不可 Dentistry, Medicine, Korean Medicine, Nursing, Law
	延世大学校 Yonsei University	春学期:3月~6月 秋学期:9月~12月	英語(TOEFL iBT 79-86以上 / IELTS 6.5以上) 又は韓国語(KLAT-TOPIK level 4以上) ※My Best Scoreは不可 学部2年以上 GPA2.5/4.0以上	*大学院生は1セメスター終了していること *学部・専攻によって語学能力要件とGPA要件が異なるため要確認 *以下の専攻への留学は不可 Medicine/Dentistry/Nursing/Pharmacy, Music, MBA, Law, Global Leadership Division, Courses offered in Songdo International Campus, Courses offered at the Songdo Campus
	大邱慶北科学技術院(DGIST) Daegu Gyeongbuk Institute of Science & Technology	春学期:2月~6月 秋学期:9月~12月	英語(TOEFL iBT 80以上 / IELTS 6.0以上) GPA2.5-3.0/4.0以上	*Graduate コースは英語開講のみ *2026年より、すべての学部コースで英語指導となる見込み
台湾	国立陽明交通大学(旧: 国立交通大学) National Yang Ming Chiao Tung University	秋学期:9月~1月 春学期:2月~6月 Full academic yearの留学は秋学期開始のみ	英語(又は中国語) ※注2	*学部・専攻によって履修制限があるため要確認 *学部・専攻によって必要な語学要件、GPAが異なるため要確認 *College of Managementは最終年度の学生のみ留学可 *英語コースのほとんどは大学院レベルで開講
	国立清華大学 National Tsing Hua University	秋学期:9月~1月 春学期:2月~6月	英語(B2)又は中国語 ※注2 ※台湾・中国国籍の学生は受入不可 GPA3.0/4.3以上	
	国立成功大学 National Cheng Kung University	秋学期:9月~1月 春学期:2月~6月	英語又は中国語 ※注2	*学部・専攻によって語学能力要件が異なるため要確認 *英語で行われるプログラムは大学院レベル(一部学部レベルあり)
	国立台湾大学 National Taiwan University	秋学期:8月~12月 春学期:2月~6月	英語(B2 level以上)又は中国語(B1 Level以上) ※注2 ※台湾国籍の学生は受入不可(二重国籍の学生は可) GPA3.0/4.0以上	*学部・専攻によっては語学能力要件が異なるため要確認 *以下の専攻への留学は不可 Department of Medicine, Department of Veterinary Medicine, etc.

※注1: 英語以外の言語で留学する人も、協定校によっては英語のスコアを求められる場合があります。
 ※注2: 協定校の定める英語の語学要件が阪大の基準スコアより低い場合は、大学間交換留学応募時に阪大の基準スコア (TOEFL iBT 79/IELTS 6.0) を満たしている必要があります。
 ※注3: 学部・専攻によって必要な語学能力・GPAが異なる場合があるため、申請前に協定校ウェブサイトを確認してください。
 ※注4: 交換留学は基本的に語学留学ではなく、専攻分野について講義を受けたり、研究指導を受けたりする留学を指します。
 従って、語学留学(語学コースのみの受講等)と見なされる留学は交換留学対象外となることご注意ください。
 ※注5: 日本独自の外国語能力試験(実用英語技能検定(英検)やドイツ語検定等)は、申請時の語学要件として認められない可能性があります。

情報は常に更新されます。最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。

2024年3月現在

Table with 5 columns: 国/地域名, 大学名, 学年暦, 要求される語学能力・留学資格要件 (協定校のウェブサイトで必ず確認すること), その他. Rows include China, Hong Kong, and UK universities like Hunan University, Xi'an Jiaotong University, Shanghai Jiao Tong University, etc.

情報は常に更新されます。最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。

2024年3月現在

Table with 5 columns: 国/地域名, 大学名, 学年暦, 要求される語学能力・留学資格要件 (協定校のウェブサイトで必ず確認すること), その他. Rows include UK, Austria, Orange, Sweden, Spain, Denmark, Germany, and UK universities like Nottingham University, Manchester University, Birmingham University, etc.

※注1: 英語以外の言語で留学する人も、協定校によっては英語のスコアを求められる場合があります。
※注2: 協定校の定める英語の語学要件が阪大の基準スコアより低い場合は、大学間交換留学応募時に阪大の基準スコア (TOEFL iBT 79/IELTS 6.0) を満たしている必要があります。
※注3: 学部・専攻によって必要な語学能力・GPAが異なる場合があるため、申請前に協定校ウェブサイトを確認してください。
※注4: 交換留学は基本的に語学留学ではなく、専攻分野について講義を受けたり、研究指導を受けたりする留学を指します。従って、語学留学 (語学コースのみの受講等) と見なされる留学は交換留学対象外となることご注意ください。
※注5: 日本独自の外国語能力試験 (実用英語技能検定 (英検) やドイツ語検定等) は、申請時の語学要件として認められない可能性があります。

4. 過去の交換留学派遣人数実績表(協定校別)

大学間協定に基づく交換留學生数

2024年3月現在

協定校	国・地域名	地域名	派遣実績(人)								
			2019	2020	オンライン	2021	オンライン	2022	オンライン	2023	オンライン
アレキサンドリア大学	エジプト	アフリカ									
ヘブライ大学	イスラエル	中近東									
カタール大学	カタール	中近東									
インド工科大学ハイデラバード校	インド	アジア									
アイルランガ大学	インドネシア	アジア									
インドネシア大学	インドネシア	アジア									
ガジャマダ大学	インドネシア	アジア							1		1
バンドン工科大学	インドネシア	アジア									
シンガポール国立大学	シンガポール	アジア	1						1		
シンガポール経営大学	シンガポール	アジア									
南洋理工科大学	シンガポール	アジア									
カセサート大学	タイ	アジア	2			1					
タマサート大学	タイ	アジア				1					
チェンマイ大学	タイ	アジア									
チュラロンコン大学	タイ	アジア	1			1					1
マヒドン大学	タイ	アジア	1								
モンクット王トンプリ工科大学	タイ	アジア									
アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	アジア	1	1	1						
デ・ラ・サール大学	フィリピン	アジア	1								
フィリピン国立大学	フィリピン	アジア									
ブルネイ工科大学	ブルネイ	アジア									
ブルネイ・ダルサラーム大学	ブルネイ	アジア									
スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学	ブルネイ	アジア									
日越大学	ベトナム	アジア									
ハノイ医科大学	ベトナム	アジア									
ハノイ国家大学	ベトナム	アジア									
ベトナム科学技術アカデミー(大学院大学)	ベトナム	アジア									
マレーシア科学大学	マレーシア	アジア									
ヤンゴン大学	ミャンマー	アジア									
モンゴル国立大学	モンゴル	アジア	1			1			1		
慶尚大学校	韓国	アジア		1	1						
高麗大学校	韓国	アジア							2		1
ソウル大学校	韓国	アジア	3						1		2
昌原大学校	韓国	アジア									
中央大学校	韓国	アジア	3						5		
忠南大学校	韓国	アジア				1					
全南大学校	韓国	アジア				1			1		
漢陽大学校	韓国	アジア	3			1			2		1
釜山大学校	韓国	アジア	2			9			2		5
延世大学校	韓国	アジア	1			1			1		
大邱慶北科学技術院(DGIST)	韓国	アジア									
国立陽明交通大学	台湾	アジア									

2024年3月現在

協定校	国・地域名	地域名	派遣実績(人)								
			2019	2020	オンライン	2021	オンライン	2022	オンライン	2023	オンライン
国立清華大学	台湾	アジア									
国立成功大学	台湾	アジア	1			1	1				
国立台湾大学	台湾	アジア				3	3				1
湖南大学	中国	アジア									
深圳大学	中国	アジア									
西安交通大学	中国	アジア									1
上海交通大学	中国	アジア	1	1	1				3	3	1
清華大学	中国	アジア	1			1			2	2	2
西北大学	中国	アジア									
浙江大学	中国	アジア	1								4
大連理工大学	中国	アジア									1
同済大学	中国	アジア	1								
東南大学	中国	アジア									
東北大学	中国	アジア									
南京大学	中国	アジア									
武漢大学	中国	アジア									
復旦大学	中国	アジア	2								1
北京師範大学	中国	アジア	1						1	1	
北京大学	中国	アジア									1
香港大学	香港	アジア							1		
香港中文大学	香港	アジア	1			1					1
香港科技大学	香港	アジア									
シェフィールド大学	英国	ヨーロッパ									2
ダーラム大学	英国	ヨーロッパ							2		1
ノッティンガム大学	英国	ヨーロッパ									
マンチェスター大学	英国	ヨーロッパ									
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	英国	ヨーロッパ							1		
リーズ大学	英国	ヨーロッパ	5	1	1	4			4		1
ウィーン大学	オーストリア	ヨーロッパ	3			4			2		3
グローニンゲン大学	オランダ	ヨーロッパ	1	2	2	2			1		
デルフト工科大学	オランダ	ヨーロッパ				1					
イエーテボリ大学	スウェーデン	ヨーロッパ	3			1			1		2
スウェーデン王立工科大学(KTH)	スウェーデン	ヨーロッパ									
バリャドリッド大学	スペイン	ヨーロッパ									
マドリッド自治大学	スペイン	ヨーロッパ				1			2		2
コペンハーゲン大学	デンマーク	ヨーロッパ	4			2			2		4
南デンマーク大学	デンマーク	ヨーロッパ				1					2
アーヘン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ							1		1
アウクスブルク大学	ドイツ	ヨーロッパ							1		1
エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学	ドイツ	ヨーロッパ	1			1			1		1
カールスルーエ工科大学	ドイツ	ヨーロッパ							1		
ゲッティンゲン大学	ドイツ	ヨーロッパ				1					1
ダルムシュタット工科大学	ドイツ	ヨーロッパ							1		
デュッセルドルフ大学	ドイツ	ヨーロッパ									

大学間協定に基づく交換留学生数

2024年3月現在

協定校	国・地域名	地域名	派遣実績(人)								
			2019	2020	うちオンライン	2021	うちオンライン	2022	うちオンライン	2023	うちオンライン
ハイデルベルク大学	ドイツ	ヨーロッパ	3			3		5		3	
ハノーファー大学	ドイツ	ヨーロッパ									
ハンブルク大学	ドイツ	ヨーロッパ									
ビーレフェルト大学	ドイツ	ヨーロッパ	2					1			
ベルリン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ									
ミュンヘン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ				1		1		1	
ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	ドイツ	ヨーロッパ	1			3		1		4	
ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	ドイツ	ヨーロッパ	3			5	1	1		5	
ルール・ボーフム大学	ドイツ	ヨーロッパ	1			4	2	2		5	
オスロ大学	ノルウェー	ヨーロッパ				3		2		5	
エトヴェシュ・ロラード大学	ハンガリー	ヨーロッパ	1	1	1	1					
オーボアカデミー大学	フィンランド	ヨーロッパ	2					1		2	
ヘルシンキ大学	フィンランド	ヨーロッパ	3			5		3		2	
エクス・マルセイユ大学	フランス	ヨーロッパ	1			2		1		4	
グルノーブル・アルプ大学	フランス	ヨーロッパ	1					1		3	
ストラスブール大学	フランス	ヨーロッパ	1			3				3	
ソルボンヌ大学	フランス	ヨーロッパ									
パリ・サクレ大学	フランス	ヨーロッパ									
パリ政治学院(シアンスポ)	フランス	ヨーロッパ									
ボルドー大学	フランス	ヨーロッパ				1				4	
サンクトペテルブルク大学	ロシア	ヨーロッパ	2			4				2	2
オレゴン大学	アメリカ	北米						2		3	
ウェズリアンカレッジ	アメリカ	北米	2			1		2		1	
カリフォルニア大学	アメリカ	北米	6	2	2	8		9		12	
ジョージア大学	アメリカ	北米	3			3				3	
テキサスA&M大学	アメリカ	北米	2					2		2	
ナザレス大学ロチェスター校	アメリカ	北米						1			
パデュー大学	アメリカ	北米								1	
ライス大学	アメリカ	北米	1					1		1	
ワシントン大学	アメリカ	北米						2		1	
トロント大学	カナダ	北米	1			1		2		2	
プリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	北米				4		1		2	
マックマスター大学	カナダ	北米								1	
カンピナス大学	ブラジル	中南米				1		1		3	
サンパウロ大学	ブラジル	中南米				1	1	1		1	
ローマ教皇庁立ベルー・カトリック大学	ペルー	中南米									
メキシコ国立自治大学	メキシコ	中南米	1								
アデレード大学	オーストラリア	オセアニア	1	2	2			1		3	
オーストラリア国立大学	オーストラリア	オセアニア	2					2		5	
クィーンズランド大学	オーストラリア	オセアニア									
メルボルン大学	オーストラリア	オセアニア									
モナシュ大学	オーストラリア	オセアニア	1					3		1	
大学間協定に基づく交換留学生数 合計			87	11	11	95	8	93	6	130	2

部局間協定に基づく交換留学生数

2024年3月現在

学部・研究科名	相手大学名	国・地域名	地域名	派遣実績(人)								
				2019	2020	うちオンライン	2021	うちオンライン	2022	うちオンライン	2023	うちオンライン
文学部 人文学研究科	マンチェスター大学	イギリス	ヨーロッパ	1			1		2		2	
文学部 人文学研究科	イーストアングリア大学	イギリス	ヨーロッパ	1			1		1		1	
文学部 人文学研究科	ロンドン大学ゴールドスミス校	イギリス	ヨーロッパ				3		1			
文学部 外国語学部 人文学研究科	ハイデルベルク大学	ドイツ	ヨーロッパ	3			2	1	5		2	
文学部 人文学研究科	ゲッティンゲン大学 社会科学部	ドイツ	ヨーロッパ	1	1				1		1	
文学部 人文学研究科	ヤギェロン大学	ポーランド	ヨーロッパ	1								
文学部 人文学研究科 人間科学部 人間科学研究科	パリ・シテ大学 (旧パリ・テイドロ大学)	フランス	ヨーロッパ						1			
人間科学部 人間科学研究科	トゥール大学	フランス	ヨーロッパ	1				1				
人間科学部 人間科学研究科	リンネ大学 (旧ヴェクショー大学)	スウェーデン	ヨーロッパ					1				2
人間科学部 人間科学研究科	ジョージア州立大学	アメリカ	北米	1				1		1		2
国際公共政策研究科	グローニンゲン大学	オランダ	ヨーロッパ						1			
経済学研究科 国際公共政策研究科	メキシコ大学院大学	メキシコ	中南米	1								
経済学部	プリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	北米	3				3		2		1
経済学部	ESSECビジネススクール (Global BBA)	フランス	ヨーロッパ	4	3	3	1		3		2	
経済学研究科	ESSECビジネススクール(MSc)	フランス	ヨーロッパ	3	2	2	1	1				2
経済学研究科	EDHECビジネススクール	フランス	ヨーロッパ									1
経済学部 経済学研究科	ロンドン大学東洋アフリカ研究学 院	イギリス	ヨーロッパ	1						2		
経済学部 経済学研究科	パリ商科大学	フランス	ヨーロッパ	1								
人間科学部 人間科学研究科 経済学部 経済学研究科	国立台湾大学	台湾	アジア	2			1	1	1			3
経済学部 経済学研究科	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学 フランクフルト・アム・マイン	ドイツ	ヨーロッパ	1	1	1						1
経済学部 経済学研究科	シドニー工科大学	オーストラ リア	オセアニア							1		1
理学部 理学研究科	モナシュ大学	オーストラ リア	オセアニア				1					
医学系研究科 医学部	マレーシアサラワク大学 医学部	マレーシア	アジア									3
医学系研究科 医学部	清華大学 生命科学学院	中国	アジア	1								1
医学系研究科 医学部	天津中薬大学	中国	アジア	3								
医学部 医学系研究科	国立台湾大学 医学部	台湾	アジア									1
医学系研究科 医学部	マヒドン大学ラマディボディ病院 医学部	タイ	アジア									9
医学部 医学系研究科	マヒドン大学医学部シリラ病院	タイ	アジア									2

海外留学に関する資料

2024年3月現在

学部・研究科名	相手大学名	国・地域名	地域名	派遣実績(人)							
				2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
医学系研究科 医学部	北京大学 公衆衛生学院	中国	アジア	10						2	
医学系研究科 医学部	香港中文大学 医学部	香港	アジア							2	
医学系研究科 医学部	延世大学校 医科大学	韓国	アジア	5							
医学系研究科 医学部	グローニンゲン大学 医学部・ユニバーシティ メディカルセンター グローニンゲン	オランダ	ヨーロッパ	1							
医学系研究科 医学部	モナシュ大学 医学部	オーストラリア	オセアニア							1	
医学系研究科 医学部	アラブ首長国連邦大学 医学部	アラブ首長国連邦	中東				2		2		
医学部保健学科 医学系研究科保健学専攻	香港大学看護学部	香港	アジア							4	
医学部保健学科 医学系研究科保健学専攻	マヒドン大学看護学部	タイ	アジア							2	
医学部保健学科 医学系研究科保健学専攻	慈済科技大学	台湾	アジア							4	
医学部保健学科 医学系研究科保健学専攻	台北医学大学看護学部	台湾	アジア							2	
工学部 工学研究科	アーヘン工科大学(数学・計算機科学・自然科学部)	ドイツ	ヨーロッパ				1		1		
工学部 工学研究科	パリ・ラヴィレット建築エコール	フランス	ヨーロッパ	2							
基礎工学部 基礎工学研究科	スウェーデン王立工科大学	スウェーデン	ヨーロッパ	1							
基礎工学部 基礎工学研究科	ダルムシュタット大学	ドイツ	ヨーロッパ	2							
基礎工学部 基礎工学研究科	トロント大学	カナダ	北米	2						1	
基礎工学部 基礎工学研究科	シンガポール国立大学	シンガポール	アジア				1		1		
基礎工学部 基礎工学研究科	リール大学	フランス	ヨーロッパ				4		2		
基礎工学部 基礎工学研究科	マドリッド・カルロス3世大学	スペイン	ヨーロッパ				1				
基礎工学部 基礎工学研究科	カスティージャラマンチャ大学	スペイン	ヨーロッパ							1	
基礎工学部 基礎工学研究科	国立台北科技大学	台湾	アジア							1	
基礎工学部 基礎工学研究科	ドイツ物理工学研究所	ドイツ	ヨーロッパ							1	
薬学研究科 薬学部	浙江大学	中国	アジア	5							
外国語学部 人文学研究科	ウラル連邦大学	ロシア	ヨーロッパ	1		1		2	2		
外国語学部 人文学研究科	モスクワ言語大学	ロシア	ヨーロッパ	2		2		2	2		
外国語学部 人文学研究科	トゥルーズ・ジャン・ジョレス大学	フランス	ヨーロッパ			1					
外国語学部	リール政治学院	フランス	ヨーロッパ	1		1				1	
外国語学部 人文学研究科	セグド大学	ハンガリー	ヨーロッパ	1							
外国語学部 人文学研究科	カーロリ・ゲーシュパールカルビン派大学	ハンガリー	ヨーロッパ			1					
外国語学部 人文学研究科 日本語日本文化教育センター	チューリヒ大学	スイス	ヨーロッパ	2							
外国語学部 人文学研究科	ストックホルム大学	スウェーデン	ヨーロッパ	2		1		2		2	

2024年3月現在

学部・研究科名	相手大学名	国・地域名	地域名	派遣実績(人)								
				2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
外国語学部 人文学研究科	ルンド大学	スウェーデン	ヨーロッパ					1		1		
外国語学部 人文学研究科 日本語日本文化教育センター	ミラノ大学	イタリア	ヨーロッパ					1		1		
外国語学部 人文学研究科 日本語日本文化教育センター	ヴェネチア「カ・フォスカリ」大学	イタリア	ヨーロッパ					1		1		
外国語学部 人文学研究科 日本語日本文化教育センター	ベルゲン大学	ノルウェー	ヨーロッパ					1				
外国語学部 人文学研究科 日本語日本文化教育センター	ウェリントン・ヴィクトリア大学	ニュージーランド	オセアニア					1				
外国語学部 人文学研究科	西北大学	中国	アジア					1	1			
外国語学部 人文学研究科	上海外国語大学	中国	アジア					3	3			
外国語学部 人文学研究科	北京語言大学	中国	アジア					1	1	1		
外国語学部	延世大学校 グローバル人材学部	韓国	アジア								3	
外国語学部 人文学研究科	深圳大学(協定終了)	中国	アジア	1								
外国語学部 人文学研究科	デリー大学	インド	アジア	3							1	
外国語学部 人文学研究科	シラパコーン大学	タイ	アジア	2			2	2		3		
外国語学部 人文学研究科	コーンケン大学	タイ	アジア	2			1					
外国語学部 人文学研究科	カセサート大学 人文学部	タイ	アジア				3	1	3		3	
外国語学部 人文学研究科 日本語日本文化教育センター	マヒドン大学 教養学部	タイ	アジア				5		3		3	
外国語学部 人文学研究科	ハノイ大学	ベトナム	アジア	1				2		1		
外国語学部 人文学研究科	ホアセン大学	ベトナム	アジア					1				
外国語学部 人文学研究科	サマルカンド国立大学	ウズベキスタン	アジア					1				
外国語学部 人文学研究科	ハロン大学	ベトナム	アジア	3								
外国語学部 人文学研究科	ホーチミン市師範大学	ベトナム	アジア	1								
外国語学部 人文学研究科	台湾師範大学	台湾	アジア				1	1			2	
外国語学部	ボアジチ大学	トルコ	中東	1			1	1			2	
外国語学部 人文学研究科	カイロ大学	エジプト	アフリカ	1								
外国語学部 人文学研究科	エジプト日本科学技術大学	エジプト	アフリカ					1		1		
部局間協定に基づく交換留学生数 合計				81	7	6	37	5	61	9	90	0
大学間・部局間協定に基づく交換留学生数 合計				168	18	17	132	13	154	15	220	2

備考: 数字は年度計算(4月~3月)にて。